

BYD

日本国内 自動車解体事業者様向け
パワー・バッテリー取り外し/回収マニュアル
(リチウムイオンバッテリー)



BYD SEALION7

2025 年 9 月
BYD Auto Japan 株式会社

目次

はじめに.....	3
リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・ 引き渡し荷姿の指定.....	4
引き取りをお断りするケース	4
液漏れの対応.....	5
火災時の対応.....	5
高電圧作業での警告標識.....	6
取り外し手順	7
パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY の取り外し(AWD)	7
パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY の取り外し(後輪駆動)	17
低電圧システムのパワーOFF	27
高電圧システムのパワーOFF	29
冷媒の回収.....	44
冷却水の排出	47
フロントサブフレームフェンダーASSY の取り外し	53
リアサブフレームフェンダーASSY の取り外し.....	54
バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し (車種 BYD6486SBEV1/BYD6486SBEV2)	55
バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し(車種 BYD6486SBEV3)	56
左モータールームトリムパネル ASSY の取り外し.....	57
ラジエーターグリルアッパークバーASSY の取り外し.....	59
モータールーム収納ボックス ASSY の取り外し	63
エプロンマッドガード ASSY の取り外し.....	64
引き渡し荷姿の指定	69

はじめに

パワーバッテリーパックは、高電圧がかかっている危険な製品です。メンテナンス作業者は、取り外し作業中に次のことに注意してください。:

- パワーバッテリーパックのオレンジケーブルの接続部、または高電圧表示が付いている部品は、教育を受けていない作業者が勝手に取り外さないでください。
- パワーバッテリーパックを外した場合は、ソケット部を絶縁材で覆ってください。
- 異物の落ち込みによる感電を避けるために、パワーバッテリーの出力用ソケットを絶縁材で覆ってください。
- 取り外し作業中のシグナルケーブルの破損を防ぐため、サンプリングケーブルを強く引っ張ったり、過度に折り曲げたりしないでください。
- パワーバッテリーパックを取り外すときは、取り付け忘れや間違いを避けるため、部品の識別に注意してください。
- パワーバッテリーパックの取り外し作業中、乱暴に取り外す、部品を落としたりぶつけたりする、モジュールを傾ける、故意にショートさせるなどの行為はしないでください。また、専門の業者以外が取り外しを行わないでください。
- パワーバッテリーパックは高電圧がかかっているため、誤った作業により死傷事故を引き起こすおそれがあります。取り外し作業の手順や注意事項については、メンテナスマニュアルに記載されている記載を遵守してください。

BYD は、当社製リチウムイオンバッテリーの転売、譲渡等による専用車両以外へのパワーバッテリーの使用や、分解、改造による事故・損害等について、一切の責任を負いかねます。

取り外しに関する技術的なお問い合わせ先
BYD カスタマーセンター

TEL: 0120-807-551 (フリーダイヤル)

フリーダイヤル受付時間:

平日・土日祝 9:00-18:00

(GW/夏季休業/年末年始休業を除く)

リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・引き渡し荷姿の指定

LiB は裸の状態とし、解体事業者様にて運搬会社が持参する段ボールに格納し、ドライバーへ引き渡してください。

回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。

<LiB 回収受付窓口>

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

リチウムイオンバッテリー（LiB）引取依頼システム：

<https://www.lib-jarp.org/>

<LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ>

自動車再資源化協力機構（自再協）—JARP—

info-libsystem@jarp.org

問い合わせ先：0570-000-994

【平日 9:00～17:00(年末年始及び土日祝祭日を除く)】

引き取りをお断りするケース

下記のリチウムイオンバッテリーについては、引き取りをお断りする場合があります。

- 他社製の車両に搭載されている。
- 本マニュアルに沿った取り外しが行われていない。
- ソケット部を絶縁材で覆っていない。
- 高電圧システムのワイヤーハーネスが切断されている。
- バッテリーケースが分解されている。
- 変形したり、損傷したりしている。
- 屋外に長期放置され、劣化が激しい。

液漏れの対応

パワーバッテリーの電解液に対する判定：

1. 大量に液漏れしている場合は、目視で確認できます。
2. 少量の液漏れの場合は、液漏れしている部位が濡れていたり、乳白色の汚れが残っています。
3. 刺激性のある臭いがしている場合は、液漏れがあることを意味します。

電解液が付着した場合の応急処置：

- 誤って電解液が身体に付着した場合は、すぐに大量の水で 10~15 分ほど洗い流してください。痛みを感じた場合は、2.5%のグルコン酸カルシウムジェルを塗り付けるか、2~2.5%のグルコン酸カルシウム溶液に浸けてください。効果がないまたは気分が悪いときは、すぐに医師の手当てを受けてください。
- 目に入った場合は、水で 15 分以上目を洗ってください。痛みが消えない場合は、すぐに医師の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、付着した衣類を脱いですぐに清潔な布できれいに拭き取り、石鹼および水でしっかり洗ってください。痛みが消えない場合は、すぐに医師の手当てを受けてください。
- 呼吸器に接触した場合は、すぐに新鮮な空気の場所に移動させてください。息苦しかったり気分が悪いときは、すぐに医師の手当てを受けてください。呼吸をしていない場合は、直ちに心肺蘇生を行い、医師の手当てを受けてください。

火災時の対応

車両メンテナンスに関わる材料の多くは引火性が極めて高いため、材料によっては燃焼すると有毒・有害なガスが発生します。

車両火災が発生した場合は、人員の安全を確保したうえで次のことをしてください。:

- 電源ポジションを「OFF」にし、近くの乾燥粉末消火器で火を消してください。
- すぐに消防に電話をかけ、救急要請を行ってください。
- 可能であれば、車の高電圧をパワーOFF し、起動バッテリー(低電圧バッテリー)の負極(−)側ケーブルを取り外してください。
- 火の勢いが強い場合は無理に消火せず、車から離れてください。

高電圧作業での警告標識

「警告：高電圧のため触るな」の警告標識で高電圧システム作業中であることを他の整備士に知らせてください(本ページをコピーして使用してください)。



取り外し手順

パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY の取り外し(AWD)

⚠ 警告 :

- 取り外したパワーバッテリーを一時的に一定期間保管する必要がある場合は、取り外す前にパワーバッテリー残量（SOC）を安全値である 30%まで消耗させてください。パワーバッテリーパック放電設備を使用すると、パワーバッテリーの電力を速やかに消耗させることができます。
- 車両の故障によりパワーバッテリー残量（SOC）を安全値まで消耗できない場合は、故障が修理されるまで、パワーバッテリーを取り外して一時的に保管しないでください。また、故障した車両は屋外の保管場所に駐車してください。
- 消耗できない故障のあるパワーバッテリーを回収する必要がある場合は、故障したパワーバッテリーを引き渡す直前にのみ取り外すことができます。事前に取り外して一時保管しないでください。

ℹ 注意 :

- 高電圧システムのメンテナンスを行う場合は（高電圧システムのワイヤーハーネスはオレンジ色）、作業前に、絶縁手袋や絶縁靴、および保護メガネなどの絶縁保護具を着用し、車両の高電圧システムをパワーOFFしてください。
- 人身への危害を避けるために、整備士以外がパワーバッテリーパックを取り外さないでください。
- 必要な保護具を着用せずにパワーバッテリーパックを触ったり、取り扱ったりしないでください。
- 部品の損傷を避けるため、ロック機能が付いている部品を無理に取り外さないでください。
- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、高電圧部品を取り外した後は、早めに絶縁・密閉処理を行ってください。
- クーリングウォーターホースを取り外した場合は、ほこりや異物などが内部へ入り込まないように、取り外したクーリングウォーターホースを密閉容器に入れるなどして密閉処理を行ってください。
- 取り外し作業中のシグナルケーブルの破損を防ぐため、高/低電圧ワイヤーハーネスを強く引っ張ったり、過度に折り曲げたりしないでください。
- 取り付ける際は専用工具を使用し、規定トルクに従ってボルトを締め付けてください。
- パワーバッテリーを取り外す際は部品のマークに注意し、脱落や誤った取り付けを避けてください。

i 注意：

- 取り付け完了後は、固定具にマークを付けてください。
- パワーバッテリーの取り外し・取り付け作業中、乱暴に取り外す、部品を落としたりぶつけたりする、モジュールを傾けるなどの行為はしないでください。
- 故意にショートさせるなどの行為はしないでください。また、専門の業者以外が取り外しを行わないでください。
- パワーバッテリーは高電圧部品であるため、誤った作業により死傷事故を引き起こすことがあります。取り外し・取り付け作業の手順や注意事項については、本メンテナンスマニュアルに記載されていることを遵守してください。
- パワーバッテリーシステムを取り外すたびに、新しいバッテリーパックウェザーストリップに交換してください。
- パワーバッテリーシステムを取り外した後は、ボディーシールプレートの踏みつけによる変形、人の転倒や怪我を防止するため、車内へ乗り込まないようにしてください。

i お知らせ：

取り外し・取り付けの際は、次の作業を行ってください。

- 冷却水の排出および注入
- 冷媒の回収および注入

作業中は、取り外し・取り付けの手順に従ってください。

必要なメンテナツツルと機器

工具名		
絶縁手袋	安全ヘルメット	トルクレンチ (40-200N·m)
絶縁靴	絶縁マット	トルクレンチ (5-50N·m)
保護面	高電圧絶縁工具	昇降台車

1. 冷媒を回収します。[冷媒の回収](#)を参照してください。
2. 運転席と助手席を前端の限界位置まで移動します。

3. 高電圧システムをパワーOFFします。高電圧システムのパワーOFFを参照してください。

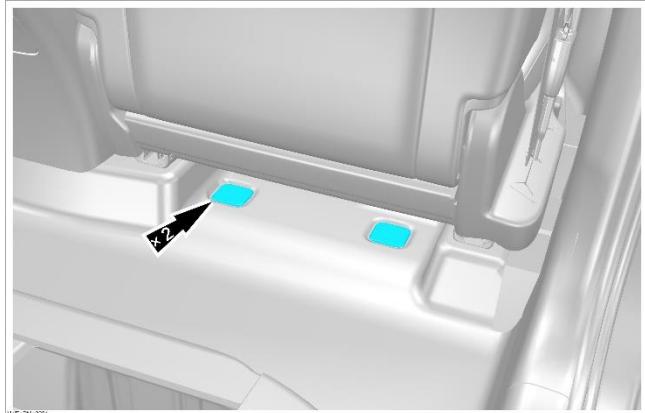
⚠ 危険 :

AC \geq 30V および DC \geq 60V の電圧は、致命的な危険性があります。

感電またはアークで死亡や重傷につながるおそれがあります。

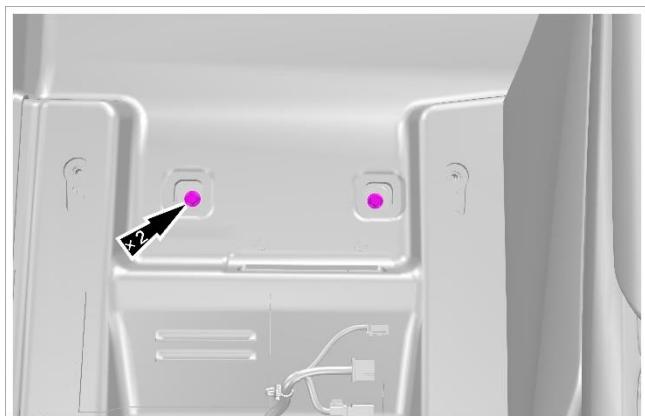
- 高電圧システムのパワーを OFF するのは、適切な資格を持つ担当者が行ってください。
- アークテスト済みの衣服を着用してください。
- 顔面を保護するヘルメットを着用してください。
- 絶縁防護手袋を着用してください。
- 安全靴を履いてください。

4. 右側助手席後部のカーペットカバー2枚を外します。

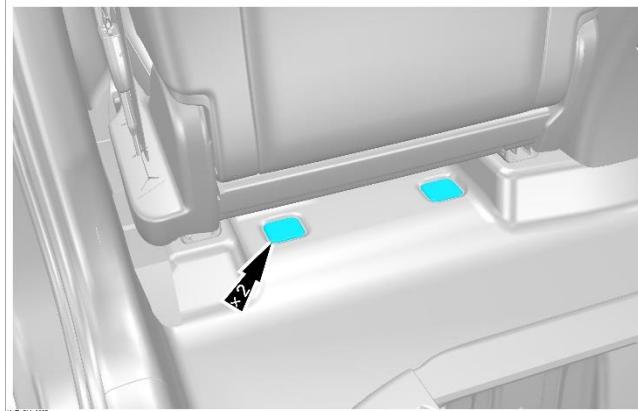


5. パワーバッテリーシステムの固定ボルト2個を取り外します。

- 締め付けトルク: 60N·m

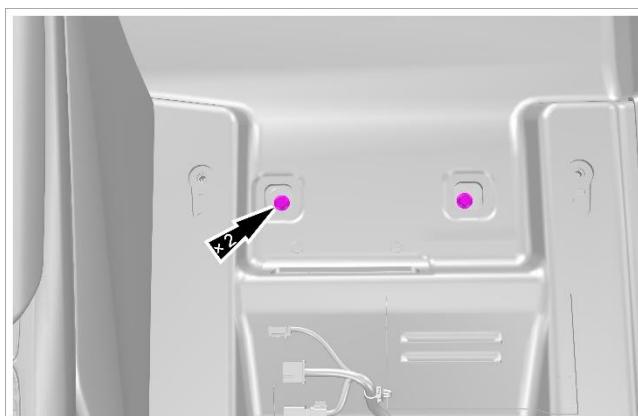


6. 左側助手席後部のカーペットカバー2枚を外します。



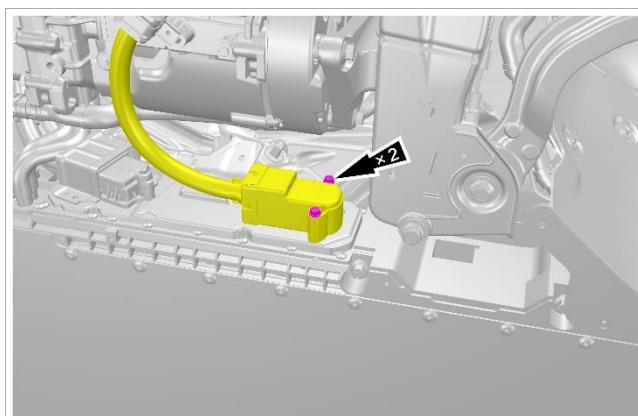
7. パワーバッテリーシステムの固定ボルト2個を取り外します。

- 締め付けトルク: 60N·m



8. 固定ボルト2本を取り外し、前輪駆動対応電動パワートレインユニット高電圧Nワイヤーをパワーバッテリーシステムから抜き出します。

- 締め付けトルク: 9N·m

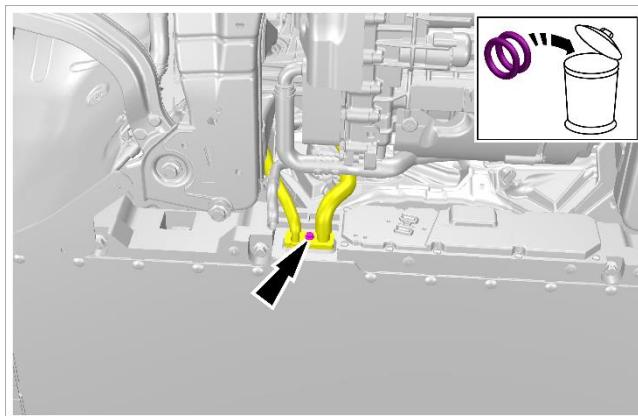


[i] 注意 :

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、高電圧部品を取り外した後は、早めに絶縁・密閉処理を行ってください。

9. 固定ボルト 1 本を取り外し、冷却チューブ ASSY 8、冷却チューブ ASSY 9 をパワーバッテリーシステムから抜き出します。

- 締め付けトルク: 10N·m



⚠️ 警告 :

- 配管内の残留冷媒により圧力が発生するおそれがあるため、配管が外れないよう注意してください。

[i] 注意 :

- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。
- 冷凍用硬質配管の継手にある O リングは使い捨て部品のため、取り外し後は廃棄し、取り付け時に新品を使用してください。

10. 冷却水を抜き出します。冷却水の排出を参照してください。

11. バッテリーパックの左/右側ガードパネル ASSY を取り外します。バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し（車種 BYD6486SBEV1/BYD6486SBEV2）を参照してください。

12. 車両の下に容器を置き、残った冷却水を回収します。

13. クーリングウォーター ホース ASSY 4 を抜き出します。

⚠ 警告 :

腐食性の液体のため、化学火傷に注意してください。

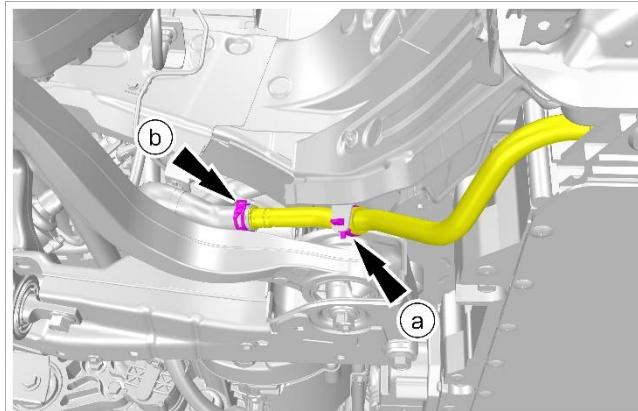
- 保護具を着用してください。
- 換気の良いところで行ってください。
- 接触を避けてください。
- 接触した場合は、ただちに大量のぬるま湯で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

⚠ 注意 :

- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。

(a) 固定クリップ 1 個を抜き出します。

(b) 固定クランプ 1 個を緩め、クーリングウォーター ホース ASSY 4 (バッテリー左側) をクーリングウォーター ホース ASSY 4 (全輪駆動) から抜き出します。



14. クーリングウォーター ホース ASSY 7 を抜き出します。

⚠ 警告 :

腐食性の液体のため、化学火傷に注意してください。

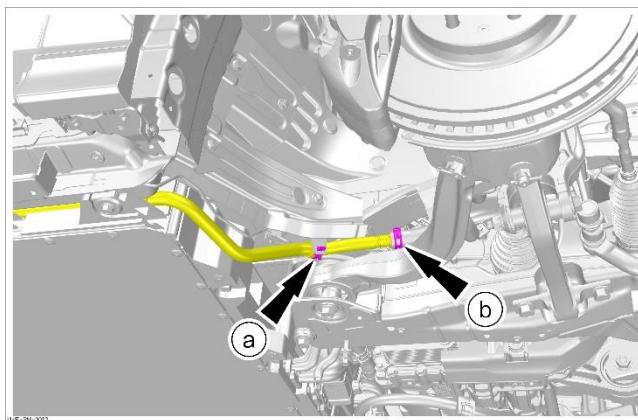
- 保護具を着用してください。
- 換気の良いところで行ってください。
- 接触を避けてください。
- 接触した場合は、ただちに大量のぬるま湯で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

ⓘ 注意 :

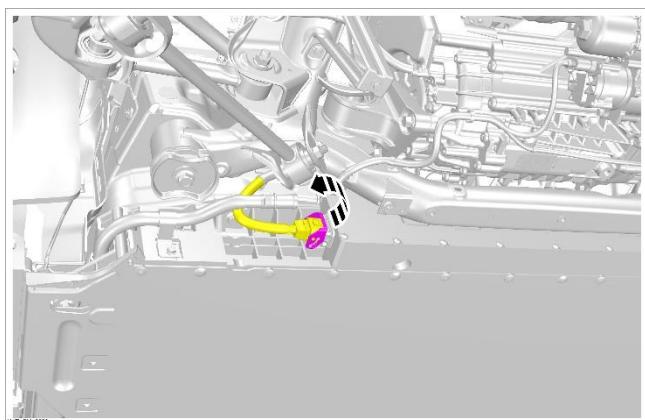
- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。

(a) 固定クリップ 1 個を抜き出します。

(b) 固定クランプ 1 個を緩め、クーリングウォーター ホース ASSY 7 をクーリングウォーター ホース ASSY 8 から抜き出します。



15. バックルを押してロック装置を「矢印」の方向に沿って回し、パワーバッテリーのコネクタ 1 個を外します。



16. パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY のすべての接続配管およびワイヤーハーネスが外されていることを確認してください。

17. 断熱マットを昇降台車に置き、断熱マットが支持面全体を覆うようにします。

[i] 注意：

- パワーバッテリーパックユニットの破損を防ぐために、プラットフォームリフトの上に厚みのある枕木やゴムパッドなどをセットしてください。
- リスティングプラットフォームでパワーバッテリーシステムを支持する場合、取り外し・取り付けを容易にするために、パワーバッテリーシステムの下部のすべての固定ボルトを避けてください。

18. 昇降台車をパワーバッテリーパックユニット真下に置き、パワーバッテリーパックユニットを少し持ち上げて支えます。

⚠ 警告 :

- リスティングプラットフォームを移動すると怪我をするおそれがあります。また、手を挟まれるおそれもあります。
- リスティングプラットフォームとパワーバッテリーの間には絶対に手を入れないでください。

ⓘ 注意 :

- パワーバッテリーの損傷や車両の滑りの原因となるため、過度な支持は避けてください。
- リスティングプラットフォームとパワーバッテリーの間にワイヤーハーネスやパイプを絶対に挟まないでください。

19. パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY を取り外します。

⚠ 警告 :

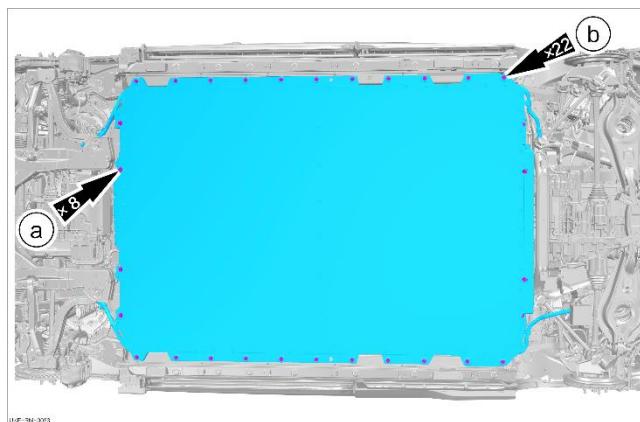
- リスティングプラットフォームがパワーバッテリーシステム ASSY をしっかりと支持できることを確認してください。
- パワーバッテリーパックユニットを取り外すときは、複数人で作業してください。また、パワーバッテリーパックユニットを下ろすときは、ボディーとの干渉がないかを確認してください。
- 横滑りや落下による人身傷害やパワーバッテリーパックユニットの損傷を防ぐため、ゆっくりと下げてください。

(a) 固定ボルト 8 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 60N·m

(b) 固定ボルト 22 本を取り外し、リスティングプラットフォームをゆっくりと下げ、パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY を下げます。

- 締め付けトルク: 60N·m



パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY の取り外し(後輪駆動)

⚠ 警告 :

- 取り外したパワーバッテリーを一時的に一定期間保管する必要がある場合は、取り外す前にパワーバッテリー残量 (SOC) を安全値である 30%まで消耗させてください。パワーバッテリーパック放電設備を使用すると、パワーバッテリーの電力を速やかに消耗させることができます。
- 車両の故障によりパワーバッテリー残量 (SOC) を安全値まで消耗できない場合は、故障が修理されるまで、パワーバッテリーを取り外して一時的に保管しないでください。また、故障した車両は屋外の保管場所に駐車してください。
- 消耗できない故障のあるパワーバッテリーを回収する必要がある場合は、故障したパワーバッテリーを引き渡す直前にのみ取り外すことができます。事前に取り外して一時保管しないでください。

ⓘ 注意 :

- 高電圧システムのメンテナンスを行う場合は（高電圧システムのワイヤーハーネスはオレンジ色）、作業前に、絶縁手袋や絶縁靴、および保護メガネなどの絶縁保護具を着用し、車両の高電圧システムをパワーOFFしてください。
- 人身への危害を避けるために、整備士以外がパワーバッテリーパックを取り外さないでください。
- 必要な保護具を着用せずにパワーバッテリーパックを触ったり、取り扱ったりしないでください。
- 部品の損傷を避けるため、ロック機能が付いている部品を無理に取り外さないでください。
- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、高電圧部品を取り外した後は、早めに絶縁・密閉処理を行ってください。
- クーリングウォーターホースを取り外した場合は、ほこりや異物などが内部へ入り込まないように、取り外したクーリングウォーターホースを密閉容器に入れるなどして密閉処理を行ってください。
- 取り外し作業中のシグナルケーブルの破損を防ぐため、高/低電圧ワイヤーハーネスを強く引っ張ったり、過度に折り曲げたりしないでください。
- 取り付ける際は専用工具を使用し、規定トルクに従ってボルトを締め付けてください。
- パワーバッテリーを取り外す際は部品のマークに注意し、脱落や誤った取り付けを避けてください。

i 注意：

- 取り付け完了後は、固定具にマークを付けてください。
- パワーバッテリーの取り外し・取り付け作業中、乱暴に取り外す、部品を落としたりぶつけたりする、モジュールを傾けるなどの行為はしないでください。
- 故意にショートさせるなどの行為はしないでください。また、専門の業者以外が取り外しを行わないでください。
- パワーバッテリーは高電圧部品であるため、誤った作業により死傷事故を引き起こすことがあります。取り外し・取り付け作業の手順や注意事項については、本メンテナンスマニュアルに記載されていることを遵守してください。
- パワーバッテリーシステムを取り外すたびに、新しいバッテリーパックウェザーストリップに交換してください。
- パワーバッテリーシステムを取り外した後は、ボディーシールプレートの踏みつけによる変形、人の転倒や怪我を防止するため、車内へ乗り込まないようにしてください。

i お知らせ：

取り外し・取り付けの際は、次の作業を行ってください。

- 冷却水の排出および注入
- 冷媒の回収および注入

作業中は、取り外し・取り付けの手順に従ってください。

必要なメンテナツツルと機器

工具名		
絶縁手袋	安全ヘルメット	トルクレンチ (40-200N·m)
絶縁靴	絶縁マット	トルクレンチ (5-50N·m)
保護面	高電圧絶縁工具	昇降台車

1. 冷媒を回収します。[冷媒の回収](#)を参照してください。
2. 運転席と助手席を前端の限界位置まで移動します。

3. 高電圧システムをパワーOFFします。高電圧システムのパワーOFFを参照してください。

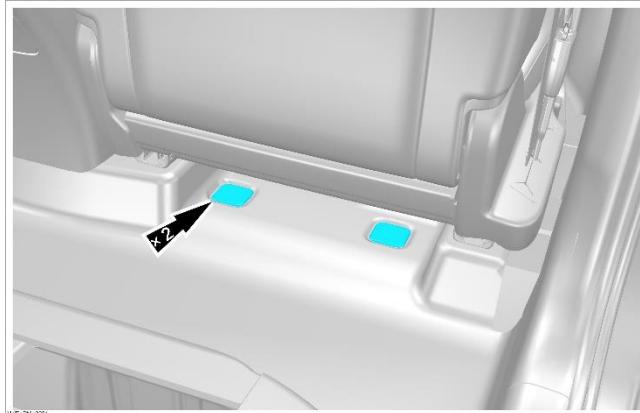
⚠ 危険 :

AC \geq 30V および DC \geq 60V の電圧は、致命的な危険性があります。

感電またはアークで死亡や重傷につながるおそれがあります。

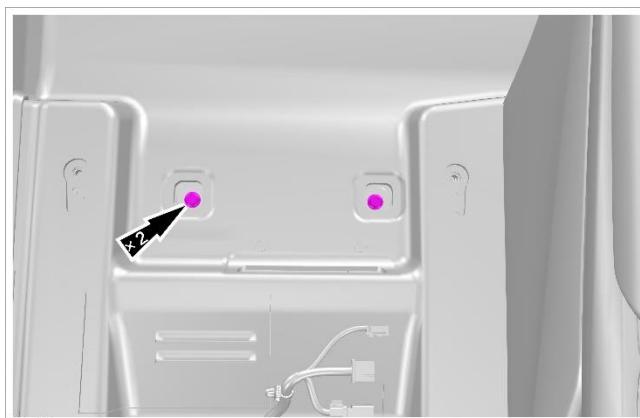
- 高電圧システムのパワーを OFF するのは、適切な資格を持つ担当者が行ってください。
- アークテスト済みの衣服を着用してください。
- 顔面を保護するヘルメットを着用してください。
- 絶縁防護手袋を着用してください。
- 安全靴を履いてください。

4. 右側助手席後部のカーペットカバー2枚を外します。

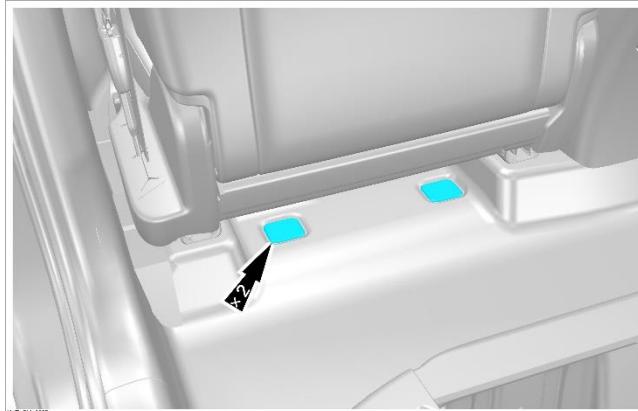


5. パワーバッテリーシステムの固定ボルト2個を取り外します。

- 締め付けトルク: 60N·m

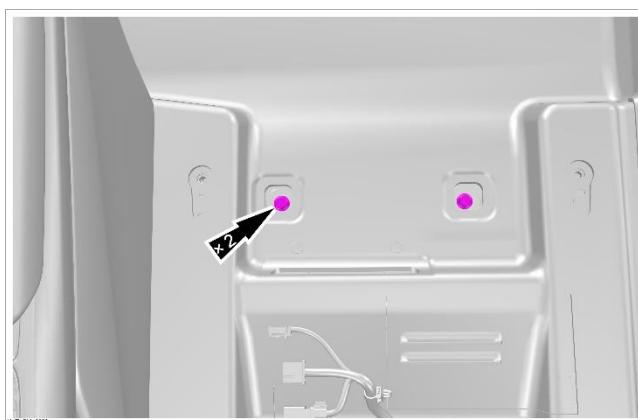


6. 左側助手席後部のカーペットカバー2枚を外します。



7. パワーバッテリーシステムの固定ボルト2個を取り外します。

- 締め付けトルク:60N·m



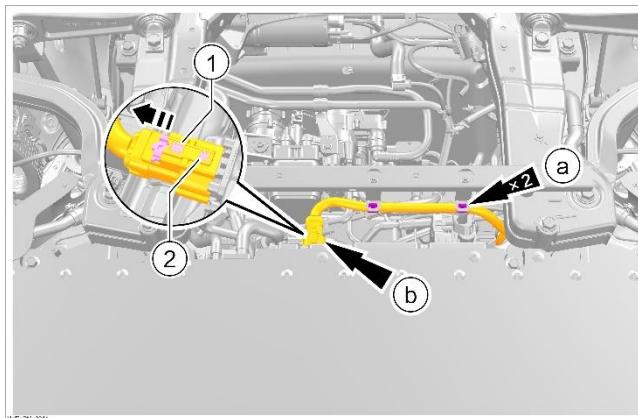
8. 高電圧負荷ワイヤーハーネス SUB ASSY を抜き出します。

[i] 注意：

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、高電圧部品を取り外した後は、早めに絶縁・密閉処理を行ってください。

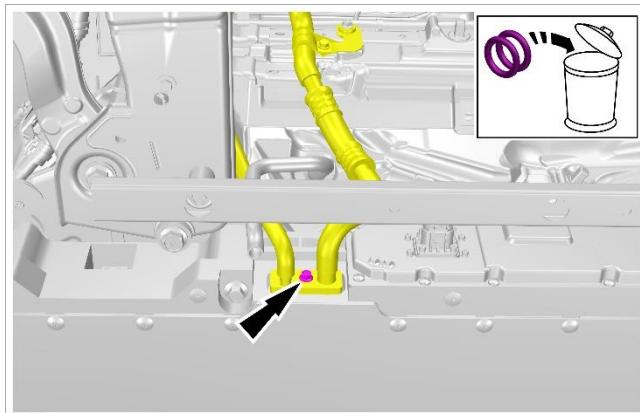
(a) 固定クリップ 2 個を抜き出します。

(b) スライダーを「矢印」の方向に沿って押し、ロック部材「1」を押して一部引き抜き、またロック部材「2」を押してコネクタを引き抜きます。



9. 固定ボルト 1 本を取り外し、冷却チューブ ASSY 9、冷却チューブ ASSY 8 をパワーバッテリーシステムから抜き出します。

- 締め付けトルク: 10N·m



⚠️ 警告 :

- 配管内の残留冷媒により圧力が発生するおそれがあるため、配管が外れないよう注意してください。

ⓘ 注意 :

- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。
- 冷凍用硬質配管の継手にある O リングは使い捨て部品のため、取り外し後は廃棄し、取り付け時に新品を使用してください。

10. 冷却水を抜き出します。冷却水の排出を参照してください。

11. バッテリーパックの左/右側ガードパネル ASSY を取り外します。バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し（車種 BYD6486SBEV3）を参照してください。

12. 車両の下に容器を置き、残った冷却水を回収します。

13. クーリングウォーター ホース ASSY 4 を抜き出します（バッテリー左側）。

⚠ 警告：

腐食性の液体のため、化学火傷に注意してください。

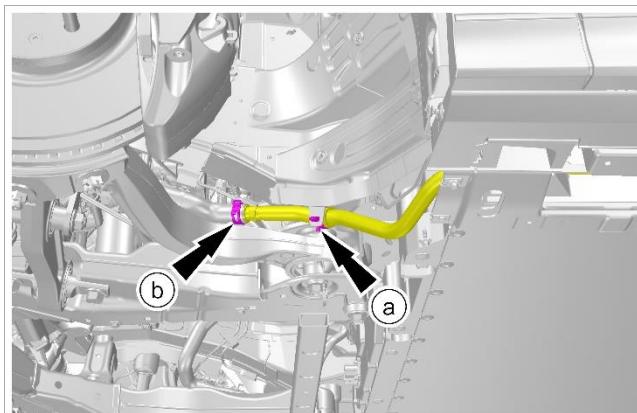
- 保護具を着用してください。
- 換気の良いところで行ってください。
- 接触を避けてください。
- 接触した場合は、ただちに大量のぬるま湯で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

ⓘ 注意：

- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。

(a) 固定クリップ 1 個を抜き出します。

(b) 固定クランプ 1 個を緩め、クーリングウォーター ホース ASSY 4（バッテリー左側）をクーリングウォーター ホース ASSY 3（後輪駆動）から抜き出します。



14. クーリングウォーター ホース ASSY 7 を抜き出します。

⚠ 警告 :

腐食性の液体のため、化学火傷に注意してください。

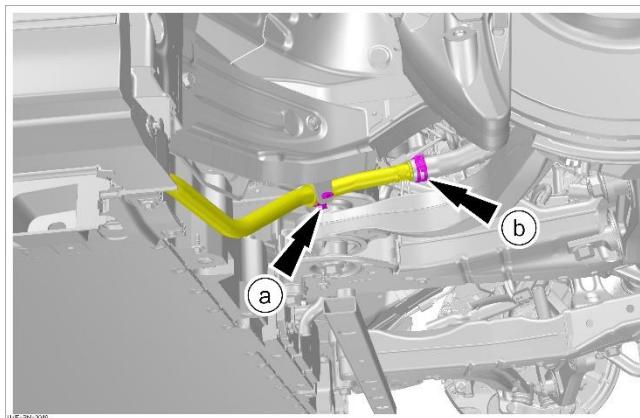
- 保護具を着用してください。
- 換気の良いところで行ってください。
- 接触を避けてください。
- 接触した場合は、ただちに大量のぬるま湯で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

ⓘ 注意 :

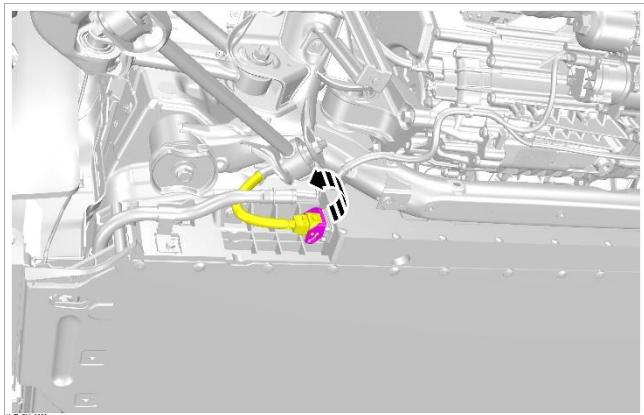
- ほこりや異物が入らないよう、配管を外した後はすぐに密閉処理してください。

(a) 固定クリップ 1 個を抜き出します。

(b) 固定クランプ 1 個を緩め、クーリングウォーター ホース ASSY 7 をクーリングウォーター ホース ASSY 8 から抜き出します。



15. バックルを押してロック装置を「矢印」の方向に沿って回し、パワーバッテリーのコネクタ 1 個を外します。



16. パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY のすべての接続配管およびワイヤーハーネスが外されていることを確認してください。

17. 断熱マットを昇降台車に置き、断熱マットが支持面全体を覆うようにします。

[i] 注意 :

- パワーバッテリーパックユニットの破損を防ぐために、プラットフォームリフトの上に厚みのある枕木やゴムパッドなどをセットしてください。
- リスティングプラットフォームでパワーバッテリーシステムを支持する場合、取り外し・取り付けを容易にするために、パワーバッテリーシステムの下部のすべての固定ボルトを避けてください。

18. 昇降台車をパワーバッテリーパックユニット真下に置き、パワーバッテリーパックユニットを少し持ち上げて支えます。

[!] 警告 :

- リスティングプラットフォームを移動すると怪我をするおそれがあります。また、手を挟まれるおそれもあります。
- リスティングプラットフォームとパワーバッテリーの間には絶対に手を入れないでください。

[i] 注意 :

パワーバッテリーの損傷や車両の滑りの原因となるため、過度な支持は避けてください。

- リスティングプラットフォームとパワーバッテリーの間にワイヤーハーネスやパイプを絶対に挟まないでください。

19. パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY を取り外します。

⚠ 警告 :

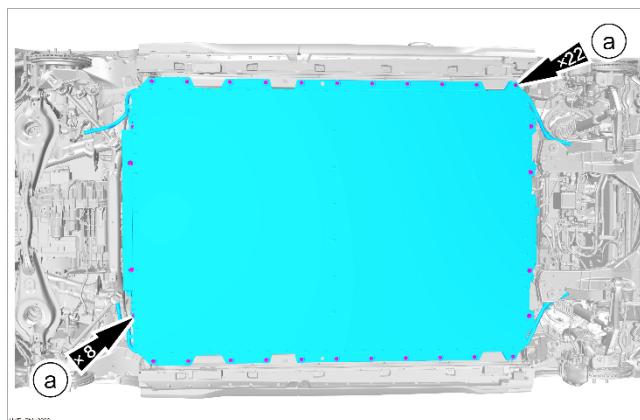
- リスティングプラットフォームがパワーバッテリーシステム ASSY をしっかりと支持できることを確認してください。
- パワーバッテリーパックユニットを取り外すときは、複数人で作業してください。また、パワーバッテリーパックユニットを下ろすときは、ボディーとの干渉がないかを確認してください。
- 横滑りや落下による人身傷害やパワーバッテリーパックユニットの損傷を防ぐため、ゆっくりと下げてください。

(a) 固定ボルト 8 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 60N·m

(b) 固定ボルト 22 本を取り外し、リスティングプラットフォームをゆっくりと下げ、パワーバッテリーシステムおよび付属品 ASSY を下げます。

- 締め付けトルク: 60N·m



低電圧システムのパワーOFF

⚠️ 警告 :

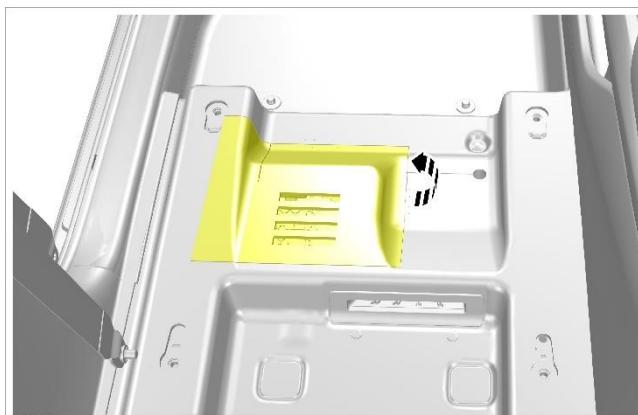
- 低電圧システムをパワーOFFする場合：操作手順に別途説明がある場合を除き、すべての電気システム部品のメンテナンスを行う前には、下記の要求事項に従い低電圧システムの電源をOFFにし、メンテナンス完了後は低電圧システムの電源をONにしてください。
- 工具または設備がバッテリーの端子およびケーブル継手に当たりやすい場合も、低電圧システムの電源をOFFにしてください。
- 静電気の発生を避けるため、バッテリーを拭く際には絶対乾いた布を使用しないでください。
- これらの注意事項が守られていない場合、人体に危害を与えたり車両が破損したりするおそれがあります。

ⓘ お知らせ :

- 起動バッテリーは運転席シートの下に配置されています。
- 取り外す前に、シートを一番後ろの位置、シートクッションを最も高い位置に調整して、取り外しやすくしてください。

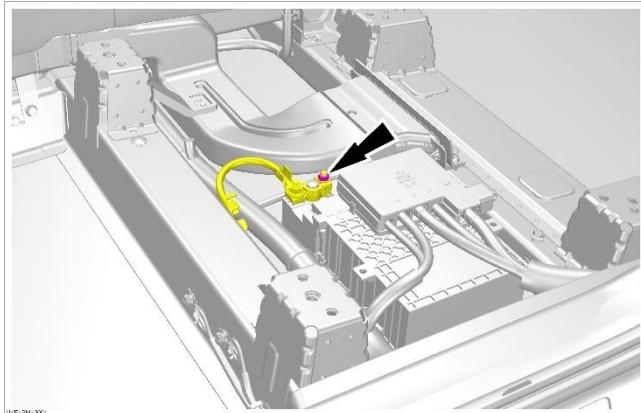
必要なメンテナンスツールと機器

- トルクレンチ(5–50N·m)
1. 車両のすべての電気機器の電源を切り、車両の電源ポジションを「OFF」にします。
 2. カーペットアクセスホールカバーを「矢印」の方向に開きます。



3. 固定ナット 1 個を緩め、バッテリー負極（-）側ワイヤーハーネスを起動バッテリーから外します。

- 締め付けトルク: 10N·m



[i] 注意 :

- バッテリーの切断と再接続は慎重に行ってください。
- 車両の他の金属部との接触による危険を防ぐため、負極（-）側ケーブル継手を抜き出した後は、バッテリーの負極（-）端子に絶縁キャップなどを付けてください。

高電圧システムのパワーOFF

⚠ 危険 :

車両の高電圧システムとパワーバッテリーには危険が存在しているため、火災やその他の傷害、生命を脅かす感電の危険を引き起こすおそれがあります。

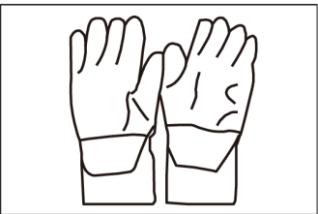
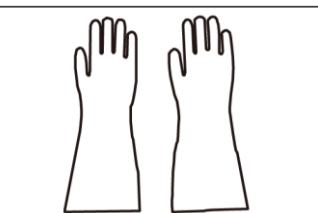
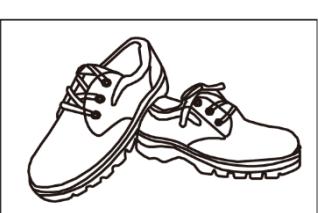
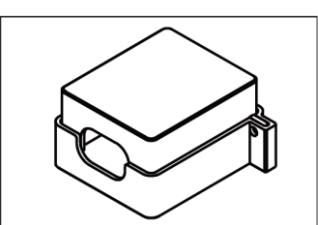
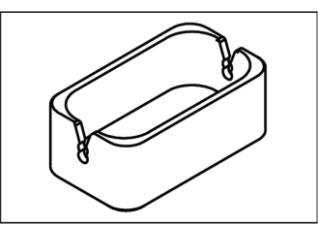
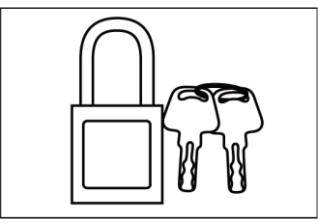
- 車両の高電圧システムおよびそれに直接影響を受けるシステムに関する作業は、資格と訓練を受けた専門スタッフのみが行えます。
- 車両の高電圧システムについての不明点や質問がある場合は、操作前に関係者へ確認してください。
- 修理作業は、常に現行の法規制やその他の法規定、認められた規制および技術に準拠し、必要に応じて事故防止規制および本マニュアルを考慮してください。

⚠ 警告 :

- 高電圧システムをパワーOFFする場合：操作手順に別途説明がある場合を除き、すべての電気システム部品のメンテナンスを行う前には、下記の要求事項に従い高電圧システムの電源をOFFにし、メンテナンス完了後は高電圧システムの電源をONにしてください。
- 車両の高電圧システムのワイヤーハーネスはすべてオレンジ色で識別されています。高電圧システムのすべての部品に対し、メンテナンス作業を行う前に高電圧システムのメンテナンス要求事項に従い、絶縁手袋、絶縁靴、保護メガネの着用、絶縁シートを敷いて高電圧の警告標識を設置するなどの保護対策を行ってください。
- 高電圧システムのメンテナンス作業は、当社および現地の法規によって認定された資格を取得している者が行ってください。
- これらの注意事項が守られていない場合、人体に危害を与えたり車両が破損したりするおそれがあります。

■ 個人用保護具および工具

番号	絵	名称	説明
1		保護面	-

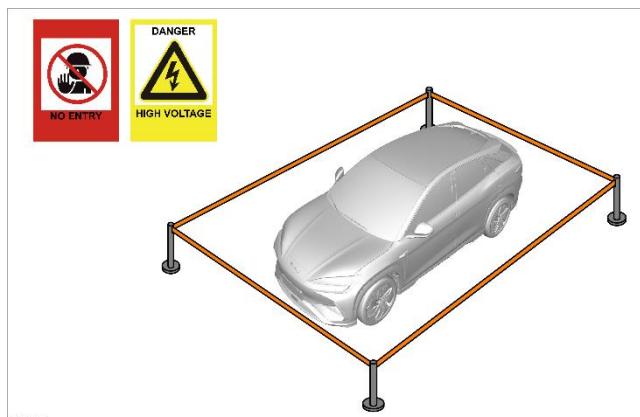
2		絶縁手袋	絶縁電圧は 1000V 以上
3		滑り止め手袋	-
4		絶縁靴	絶縁電圧は 1000V 以上
5		高電圧ケーブルコネクタ用保護カバー	プラグを保護し、感電を防ぐ
6		高電圧ケーブルコネクタ用保護カバー	プラグを保護し、感電を防ぐ
7		絶縁タイプロックアウトキー	プラグを保護し、感電を防ぐ

必要なメンテナンスツールと機器

- 電圧テスター
- トルクレンチ(5–50N·m)
- プラスチックレバー

■ 高電圧システムのパワーOFF

1. 車両を整備場所に移動させます。



① お知らせ :

- メンテナンスエリアには安全柵を設置し、高電圧危険警告標識を掲示してください。
- メンテナンスエリアには、個人用保護具を着用している関係作業者のみが立ち入ることができます。

2. 車両の充放電ケーブルを切り離します。

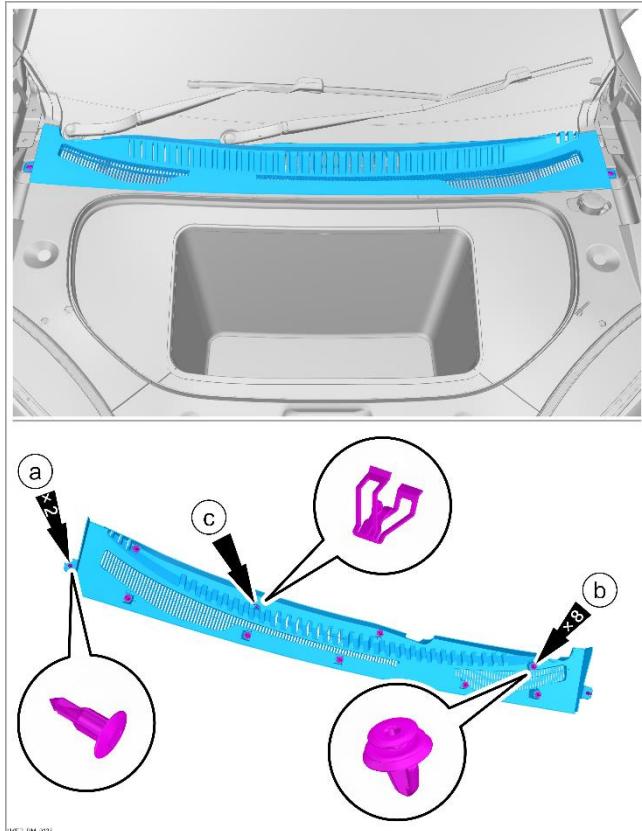
3. すべての窓を完全に下げ、すべてのドアを解除します。

4. 低電圧システムをパワーOFF します。 [低電圧システムのパワーOFF](#) を参照してください。

② 注意 :

- 5分間待ってから高電圧部品を取り外してください。

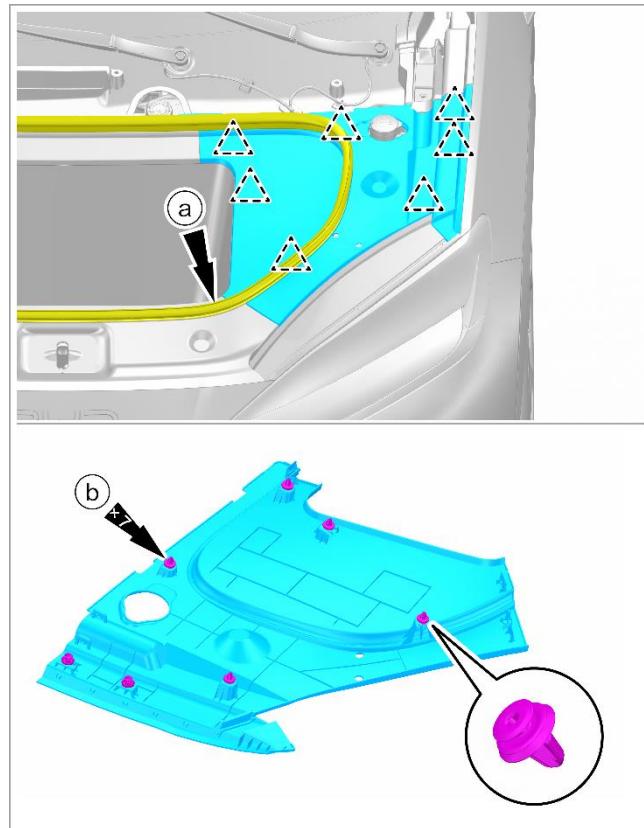
5. 固定クリップ 11 個を抜き出し、カウルトップアッパートリムパネル ASSY を外します。



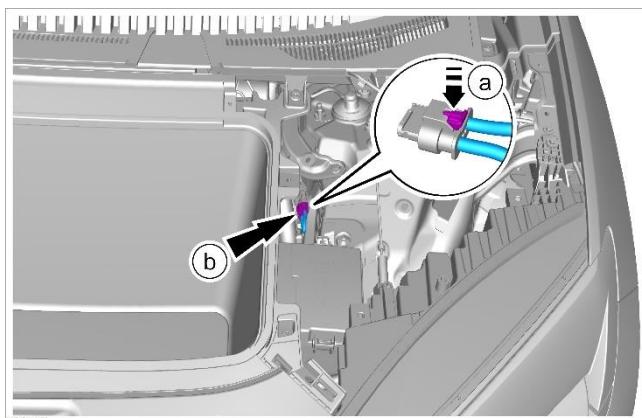
6. 左モータールームトリムパネル ASSY を取り外します。

(a) モータールームウェザーストリップの一部を抜き出します。

(b) 固定クリップ 7 個を左モータールームトリムパネル ASSY から抜き出して外します。



7. バックルを抜き出し「矢印 a」の方向に押し込み、低電圧メンテナンススイッチを OFF にします。



⚠ 警告：

- 緊急時で低電圧メンテナンススイッチを取り外すことができない場合は、ハサミなどの工具を使い低電圧メンテナンススイッチ先端のワイヤーハーネスを直接切断してください。
- 衝突や車両火災が発生した場合は、高電圧電源を緊急切断し、身の安全を確認しながら手順 4~7 を行ってください。

ⓘ 注意：

- 車両の高電圧部品を修理する、または異常（例：車両の衝突や火災）が発生し感電などの危険性がある場合は、高電圧システムを OFF にしてください。
- 低電圧メンテナンススイッチを取り外す場合は、低電圧メンテナンススイッチコネクタのメス側を押しながら引き抜きます。その際、コネクタ先端のワイヤーハーネスは引っ張らないでください。
- 低電圧メンテナンススイッチの紛失や異常電源投入を避けるため、取り外した後は適切に保管してください。

8. フロントサブフレームフェンダーASSYを取り外します。

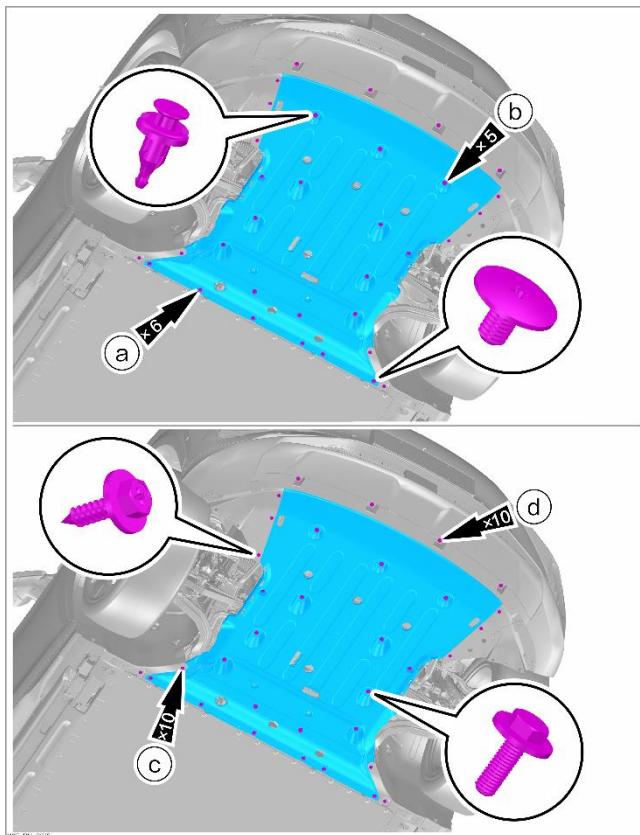
(a) 固定ネジ 6 本を取り外します。

(b) バックル 5 個を抜き出します。

(c) 固定ネジ 10 本を取り外します。

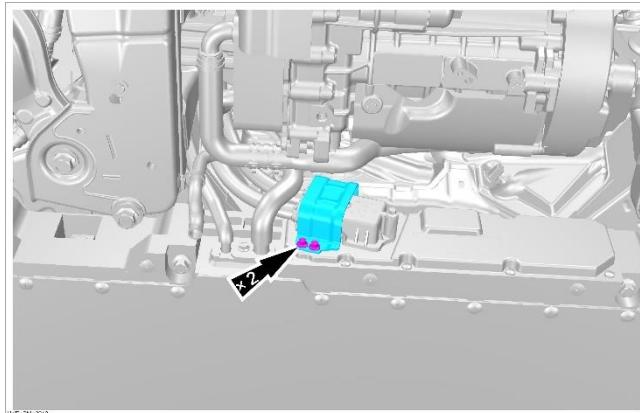
(d) 固定ボルト 10 本を取り外し、フロントサブフレームフェンダーASSY を外します。

● 締め付けトルク: 3N·m



9. 固定ボルト 2 本を取り外し、高電圧ワイヤーハーネス固定ケースを外します。

- 締め付けトルク: 9N·m



⚠ 危険 :

AC \geq 30V および DC \geq 60V の電圧は、致命的な危険性があります。

感電またはアークで死亡や重傷につながるおそれがあります。

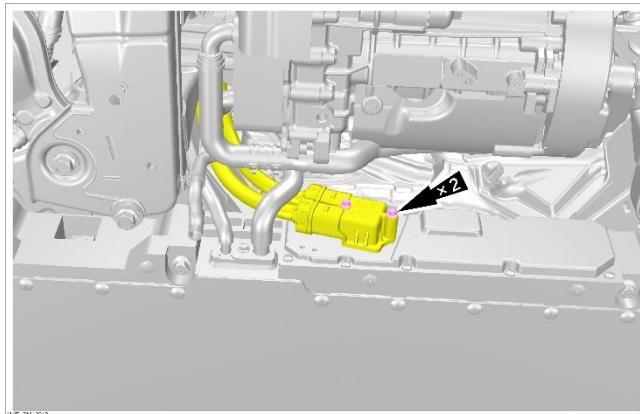
- アークテスト済みの衣服を着用してください。
- 顔面を保護するヘルメットを着用してください。
- 絶縁防護手袋を着用してください。
- 安全靴を履いてください。

(i) お知らせ :

- この手順は、全輪駆動車にのみ適用されます。

10. 固定ボルト 2 本を取り外し、前輪駆動対応電動パワートレインユニット高電圧ワイヤーハーネスをパワーバッテリーシステムから抜き出します。

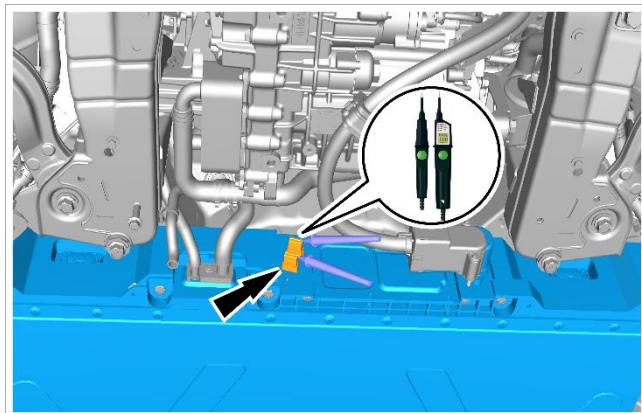
- 締め付けトルク: 9N·m



(i) お知らせ :

- この手順は、全輪駆動車にのみ適用されます。

11. 電圧テスターを使用してパワーバッテリーフロントエンドの正極と負極の電圧値を測定する場合は、電圧値が 60V 以下の安全な電圧範囲内であることを確認してください。



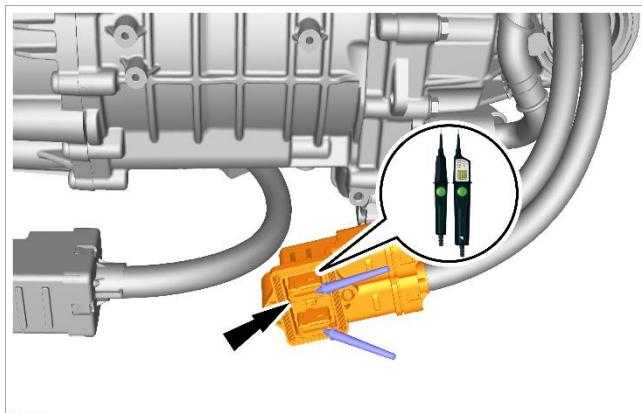
[i] 注意 :

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、測定後は速やかに絶縁・密閉処理を行ってください。
- コネクタ端子電圧がいずれも基準範囲内に入っている場合は、車両の高電圧システムがパワーOFF していることを表します。
- 端子電圧がいずれも基準範囲から外れている場合は、故障要因を解消してください。また、故障が解消されるまでは、高電圧システムのすべての部品に対しメンテナンスを行わないでください。

[i] お知らせ :

- この手順は、全輪駆動車にのみ適用されます。

12. 電圧テスターを使用して前輪駆動コントローラーユニットワイヤーハーネス端子の正極と負極の電圧値を測定する場合は、電圧値が 60V 以下の安全な電圧範囲内であることを確認してください。



[i] 注意 :

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、測定後は速やかに絶縁・密閉処理を行ってください。
- コネクタ端子電圧がいずれも基準範囲内に入っている場合は、車両の高電圧システムがパワーOFFしていることを表します。
- 端子電圧がいずれも基準範囲から外れている場合は、故障要因を解消してください。また、故障が解消されるまでは、高電圧システムのすべての部品に対しメンテナンスを行わないでください。

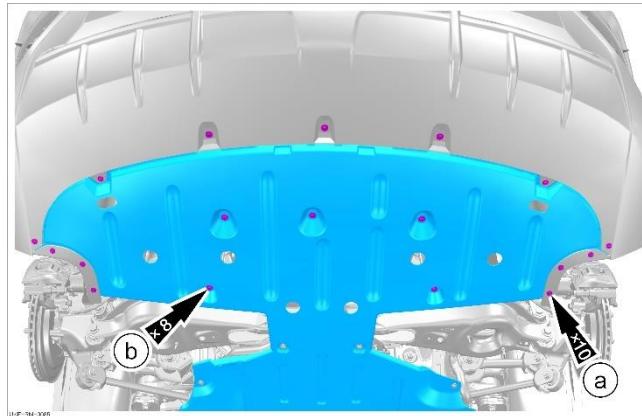
[i] お知らせ :

- この手順は、全輪駆動車にのみ適用されます。

13. リアサブフレームフェンダーASSYを取り外します。

- (a) 固定ネジ 10 本を取り外します。
- (b) 固定ボルト 8 本を取り外します。

● 締め付けトルク: 5N·m



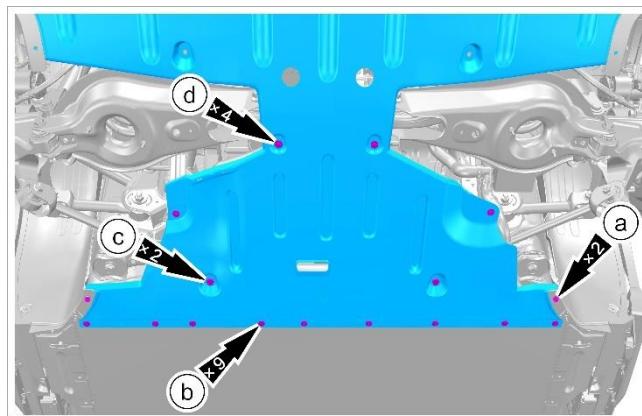
14. リアサブフレームフェンダーASSYを取り外します。

- (a) 固定ネジ 2 本を取り外します。
- (b) ス普ラインボルト 9 本を取り外します。

● 締め付けトルク: 3N·m

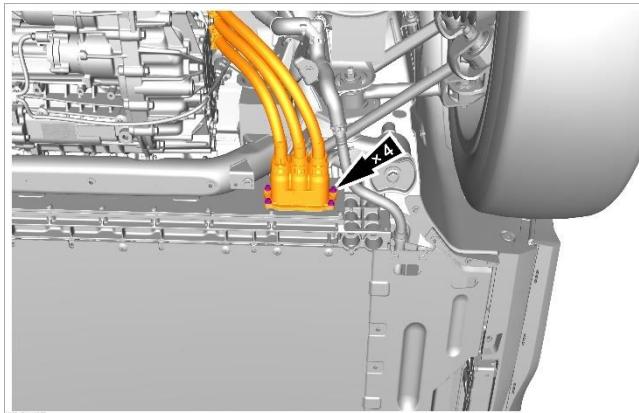
- (c) 固定クリップ 2 個を抜き出します。
- (d) 固定ボルト 4 本を取り外し、リアサブフレームフェンダーASSYを外します。

● 締め付けトルク: 5N·m

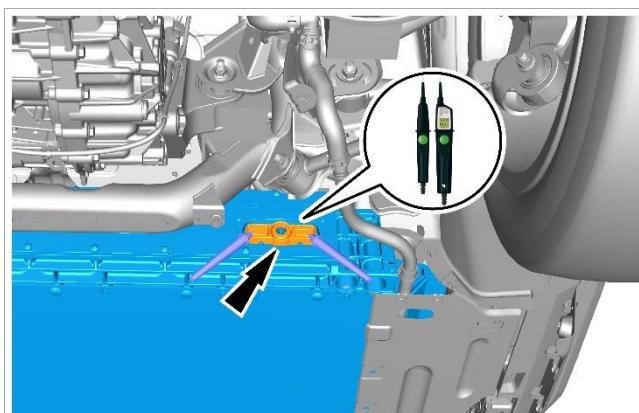


15. 固定ボルト 4 本を取り外し、高電圧配電用ワイヤーハーネス SUB ASSY をパワー バッテリーシステムから抜き出します。

- 締め付けトルク: 5N·m



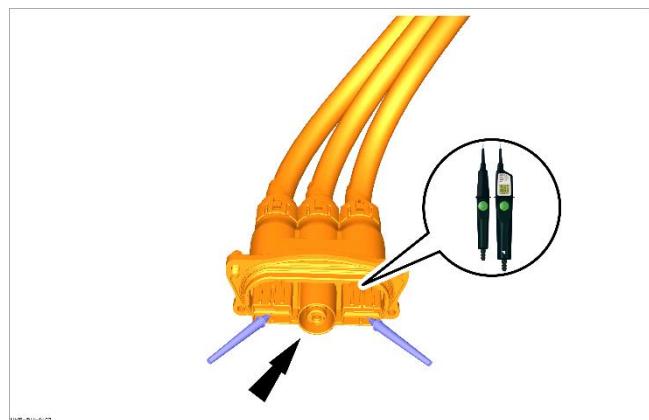
16. 電圧テスターを使用してパワーバッテリーアンドの正極と負極の電圧値を測定する場合は、電圧値が 60V 以下の安全な電圧範囲内であることを確認してください。



[i] 注意 :

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、測定後は速やかに絶縁・密閉処理を行ってください。
- コネクタ端子電圧がいずれも基準範囲内に入っている場合は、車両の高電圧システムがパワーOFF していることを表します。
- 端子電圧がいずれも基準範囲から外れている場合は、故障要因を解消してください。また、故障が解消されるまでは、高電圧システムのすべての部品に対しメンテナンスを行わないでください。

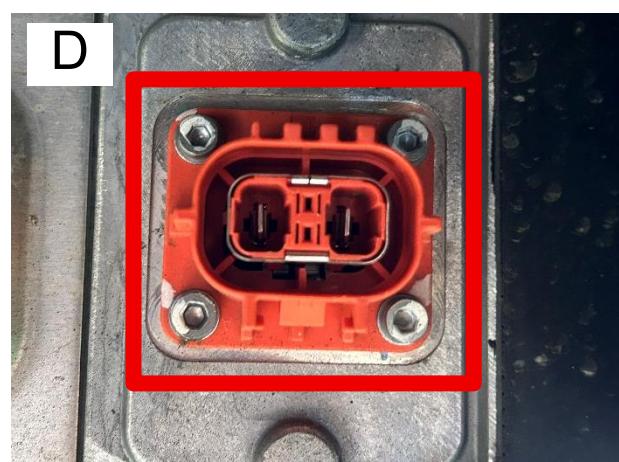
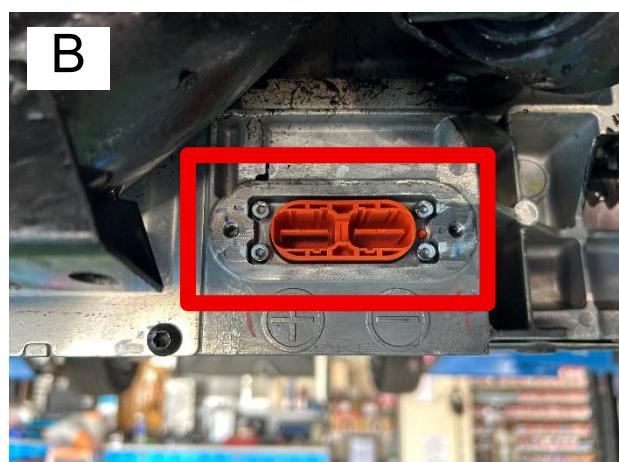
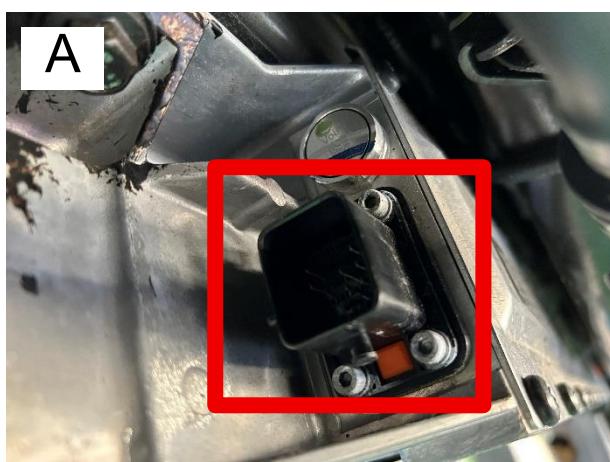
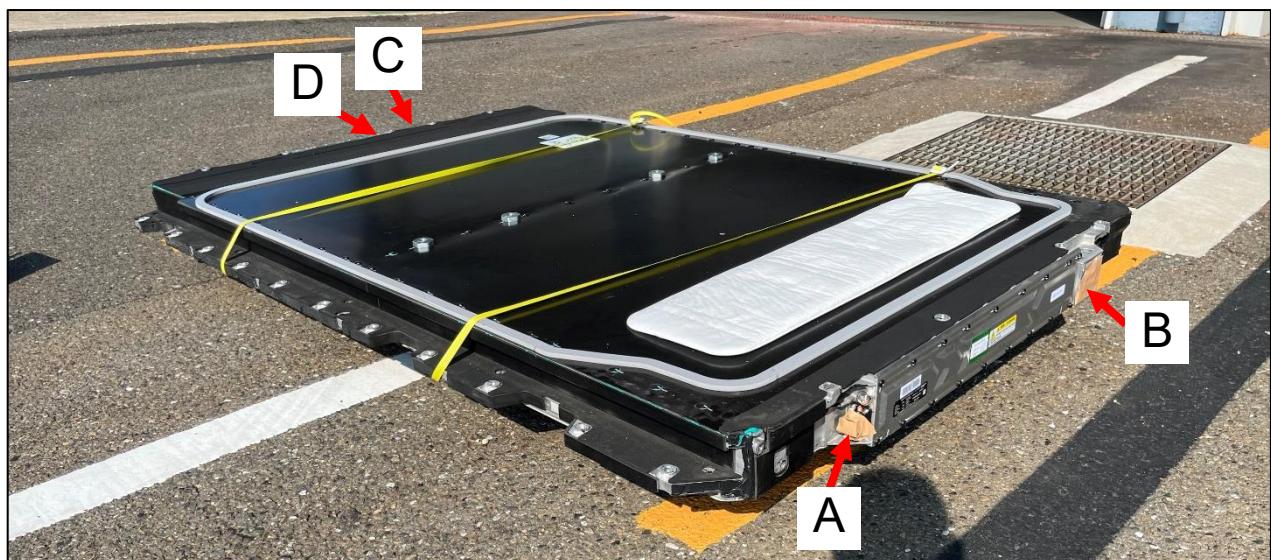
17. 電圧テスターを使用して高電圧配電用ワイヤーハーネス SUB ASSY ワイヤーハーネス端子の正極と負極の電圧値を測定する場合は、電圧値が 60V 以下の安全な電圧範囲内であることを確認してください。



[i] 注意：

- ほこりや異物の混入、または高電圧端子を誤って触れることで発生する感電を防ぐため、測定後は速やかに絶縁・密閉処理を行ってください。
- コネクタ端子電圧がいずれも基準範囲内に入っている場合は、車両の高電圧システムがパワーOFFしていることを表します。
- 端子電圧がいずれも基準範囲から外れている場合は、故障要因を解消してください。また、故障が解消されるまでは、高電圧システムのすべての部品に対しメンテナンスを行わないでください。

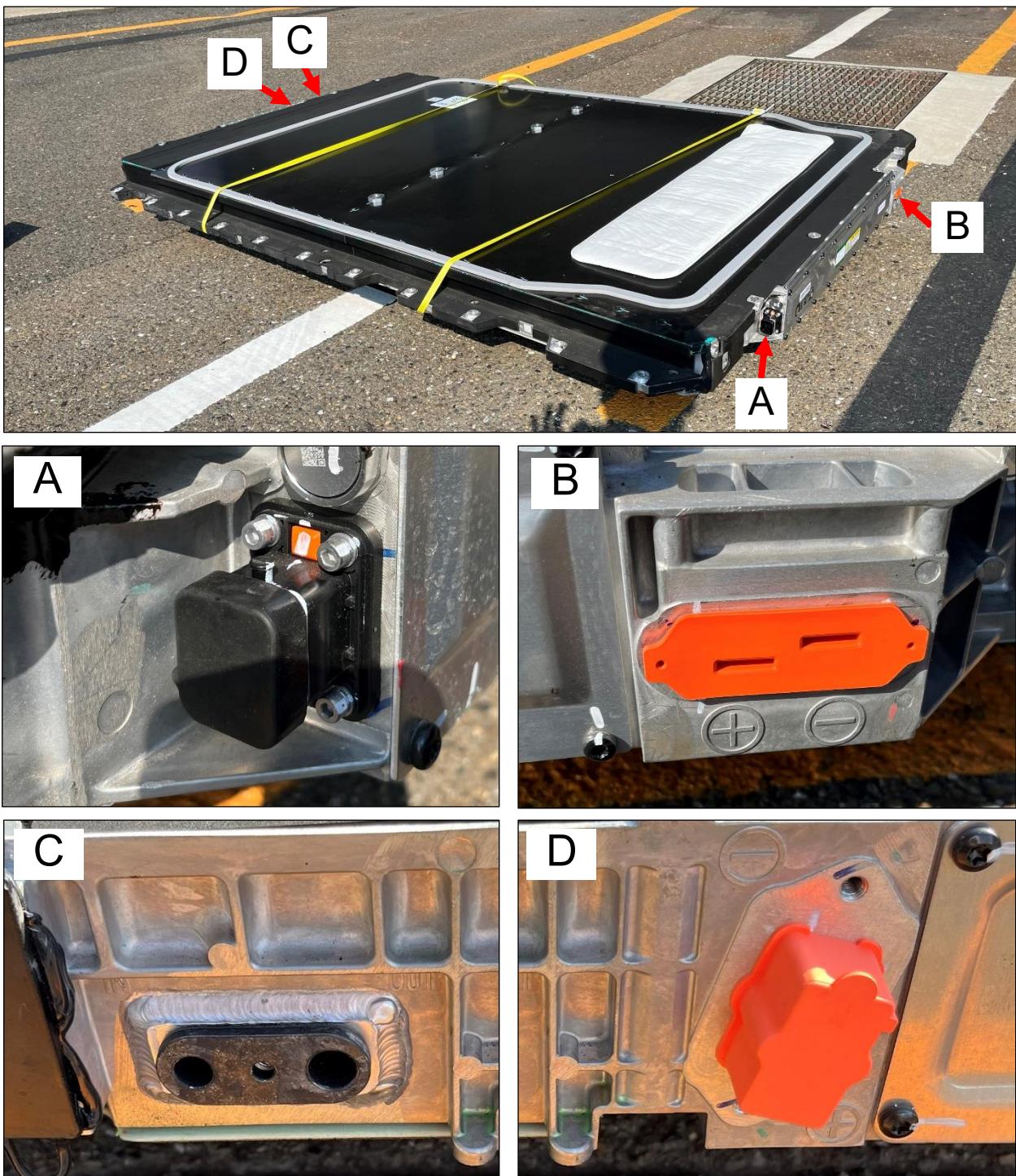
18. 絶縁効果のあるテープ処理方法



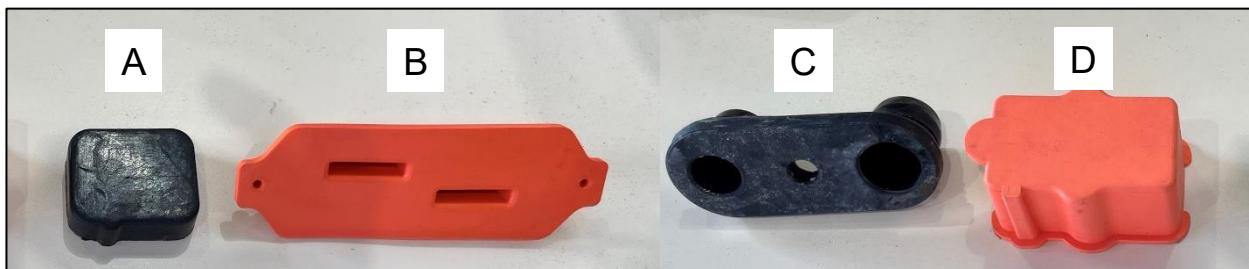
冷媒配管接続口のため、コンプレッサーオイルが漏れしないように処理してください。

: 絶縁テープ

19. 絶縁キャップ処理方法



絶縁処理時に使用されるキャップ



冷媒の回収

⚠ 警告 :

- 空調システムのメンテナンスを行う際は慎重に作業し、空調システムメンテナンス上の注意事項を厳守してください。詳細は、メンテナスマニュアルを参照してください。これらの説明内容に従わない場合は、重大な人身事故につながるおそれがあります。
- 冷媒回収・補充装置の取扱説明書を必ずよく読み、指示に厳密に従って操作してください。
- エアコンオイルは、異なるグレードのエアコンオイルと混合したり他のブランドのエアコンオイルで代用したりせずに、専用エアコンオイルを使用してください。
- 冷媒回収には電気自動車またはハイブリッド車専用冷媒回収機を使用し、エアコンオイル回収時の混用を避けてください。

次の場合は、冷媒回収フローを行ってください。

- 冷凍サイクルを開くすべての操作

冷媒注入の前提条件:

- 冷凍サイクルの組み立てとシールリングの交換が完了している
- 真空引きが完了しており、回路内に漏れがない
- その他の準備状態が完了している

必要なメンテナツールと機器

- 冷媒回収・補充装置

1. エアコンを ON にして、次のように設定します。

- エアコンスイッチ : ON
- 温度設定 : Lo
- ブロワー速度 : 最大風速
- 運転時間 : 3 分以上

① お知らせ :

- 上記の設定により、空調システム内のエアコンオイルの大部分がコンプレッサーに集中し、エアコンオイルの排出を避けることができます。
- コンプレッサーの故障によりエアコンが作動しない場合は、上記の設定は必要ありません。

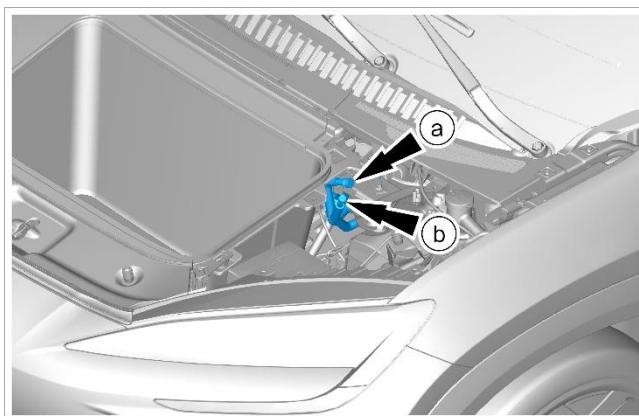
2. 車両の電源ポジションを「OFF」にし、エアコンシステムが動作しないこと（例：コンプレッサー、電動ファンが作動しない）を確認します。
3. 左モータールームトリムパネル ASSY を取り外します。[左モータールームトリムパネル ASSY の取り外し](#)を参照してください。
4. 冷媒回収・補充装置を使用して空調システムの配管を接続します。

⚠️ 警告：

圧力がかかった状態で噴出する冷媒は凍傷を引き起こすおそれがあり、皮膚や体の一部が凍結する危険があります。

- 防護手袋を着用してください。
- 保護メガネを着用してください。

- (a)高圧バルブキャップを取り外し、冷媒回収・補充装置高圧側クイックジョイントを空調システム高圧側継手に接続します。
- (b)低圧バルブキャップを取り外し、冷媒回収・補充装置低圧側クイックジョイントを空調システム低圧側継手に接続します。



5. 冷媒回収・補充装置の高圧側、低圧側の圧力弁をゆっくりと開き、開き過ぎないように気を付けながら冷媒回収・補充装置の指示に従って運転し、冷媒を回収してください。

ⓘ 注意：

- 冷媒回収・補充装置のエアコンオイルタンクの液面レベルを冷媒回収開始前と回収完了後に確認・記録し、差を算出・記録します。

6. 冷媒回収・補充装置と車両との接続を逆の順序で取り外します。

警告：

圧力がかかった状態で噴出する冷媒は凍傷を引き起こすおそれがあり、皮膚や体の一部が凍結する危険があります。

- 防護手袋を着用してください。
- 保護メガネを着用してください。

コンプレッサーに冷媒がない状態で稼動すると、コンプレッサーが損傷するおそれがあるため、空調システムに冷媒がない状態でエアコンの電源を入れないでください。

注意：

- 不純物がコネクタを汚染しないように、高圧バルブキャップと低圧バルブキャップを元に戻してください。

冷却水の排出

⚠ 警告 :

暖機状態の場合は、冷却システム内の圧力が高くなります。高温の蒸気や冷却水は火傷するおそれがあります。手や体の他の部分に火傷を負わないよう、慎重に操作してください。

- 防護手袋を着用してください。
- 保護メガネを着用してください。
- 圧力を解放する場合：リザーバタンクの密閉キャップを布で覆い、慎重に開けてください。

腐食性の液体のため、化学火傷に注意してください。

- 保護具を着用してください。
- 換気の良いところで行ってください。
- 接触を避けてください。
- 接触した場合は、ただちに大量のぬるま湯で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

ⓘ 注意 :

- メンテナンス周期表の推奨期間と走行距離に従って冷却水を抜き出し、BYD が指定する冷却水または同レベルの新品の冷却水を追加してください。異なるレベルの冷却水の使用や水を加えたりすると、冷却システムに鏽や沈殿物が発生するおそれがあります。
- 冷却水は車両の下から排出されます。そのため、充分な知識と工具設備がない限り、熟練した技術者によって作業してください。
- 冷却水に関する地域の廃棄物処理規制を厳守してください。

必要なメンテナンスツールと機器

- 液体回収容器
- スプリングクランプ/水配管用鉗子

- 車両の電源ポジションを「ON」にしてウォーターポンプを 5 分ほど稼働させてから、車両の電源ポジションを「OFF」にします。この手順を 2~3 回繰り返します。
- モータールーム収納ボックス ASSY を取り外します。[モータールーム収納ボックス ASSY の取り外し](#)を参照してください。
- リザーバタンクエンドキャップを反時計回りにゆっくりと回して冷却システム内の残留圧力を解放し、リザーバタンクのエンドキャップを開けます。

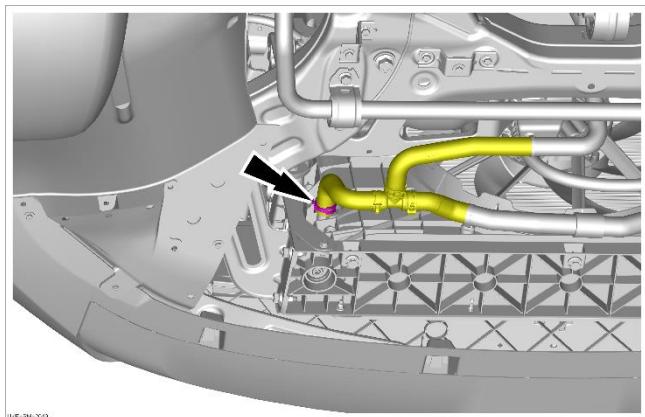


⚠ 警告 :

- 高温・高圧の冷却水が吹き出して重傷を負うおそれがあるため、冷却水が高温の場合は慎重に操作してください。

- フロントサブフレームフェンダーASSY を取り外します。[フロントサブフレームフェンダーASSY の取り外し](#)を参照してください。
- ラジエーター排水口の下に回収皿を置きます。

6. スプリングクランプ 1 個を緩め、クーリングウォーター ホース ASSY 1 を抜き出し、ラジエーターと配管の中の冷却水を排出します。



⚠ 警告 :

- 冷却水による人身事故を防ぐため、慎重に作業を行ってください。

ⓘ 注意 :

- 地域の法律や規制に従って、使用済みの冷却水を適切に回収・処理してください。

7. クーリングウォーター ホース ASSY 3 を抜き出し、前輪駆動対応電動パワートレインユニットと配管の中にある冷却水を排出します。

⚠ 警告 :

- 冷却水による人身事故を防ぐため、慎重に作業を行ってください。

ⓘ 注意 :

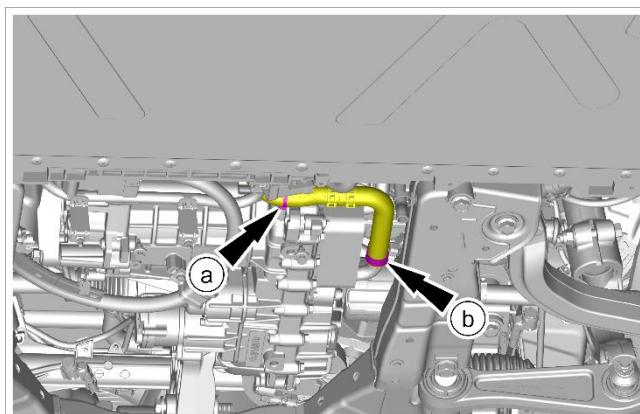
- 地域の法律や規制に従って、使用済みの冷却水を適切に回収・処理してください。

ⓘ お知らせ :

- 操作前に、クーリングウォーター ホース ASSY 3 の下に回収容器を置いてください。
- この手順は、全輪駆動車にのみ適用されます。

(a) 固定クリップ 1 個を抜き出します。

(b) スプリングクランプ 1 個を緩めてクーリングウォーター ホース ASSY 3 を抜き出し、前輪駆動対応電動パワートレインユニットと配管の中の冷却水を排出します。



8. リアサブフレームフェンダーASSY を取り外します。リアサブフレームフェンダーASSY の取り外しを参照してください。

9. 後輪駆動対応電動パワートレインユニットと配管の中にある冷却水を排出します。

⚠ 警告 :

- 冷却水による人身事故を防ぐため、慎重に作業を行ってください。

ⓘ 注意 :

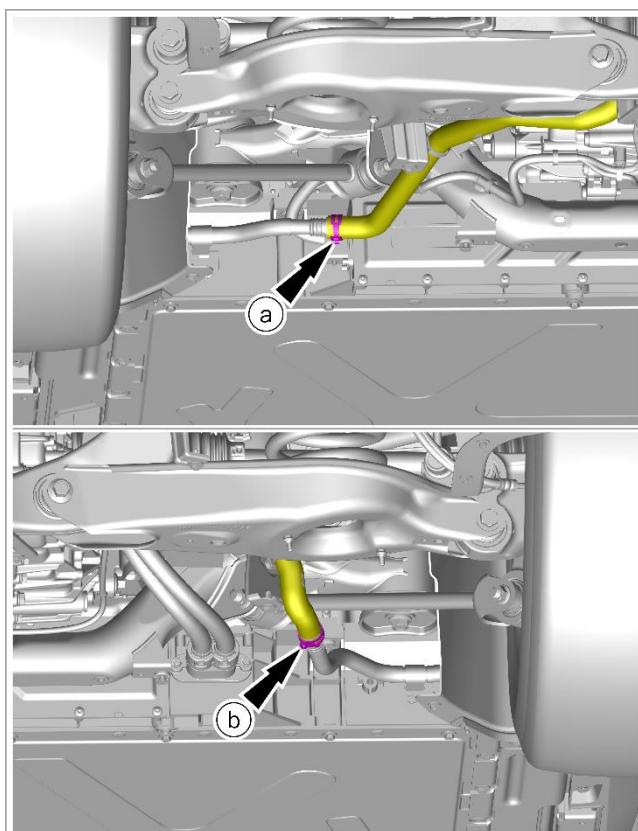
- 地域の法律や規制に従って、使用済みの冷却水を適切に回収・処理してください。

ⓘ お知らせ :

- 操作前に、クーリングウォーター ホース ASSY の下に回収容器を置いてください。

(a)車両底部の左リア側でスプリングクランプ 1 個を緩めてクーリングウォーター ホース ASSY 15 を抜き出し、後輪駆動対応電動パワートレインユニットと配管の中にある冷却水を排出します。

(b)車両底部の右リア側でスプリングクランプ 1 個を緩めてクーリングウォーター ホース ASSY 20 を抜き出し、後輪駆動対応電動パワートレインユニットと配管の中にある冷却水を排出します。



10. クーラントが完全に排出された後、逆の手順ですべてのクーリングウォーター ホース ASSY を取り付け、弾性クランプで固定します。

① お知らせ：

- こぼれたり残ったりした冷却水は清掃してください。

フロントサブフレームフェンダーASSY の取り外し

必要なメンテナンスツールと機器

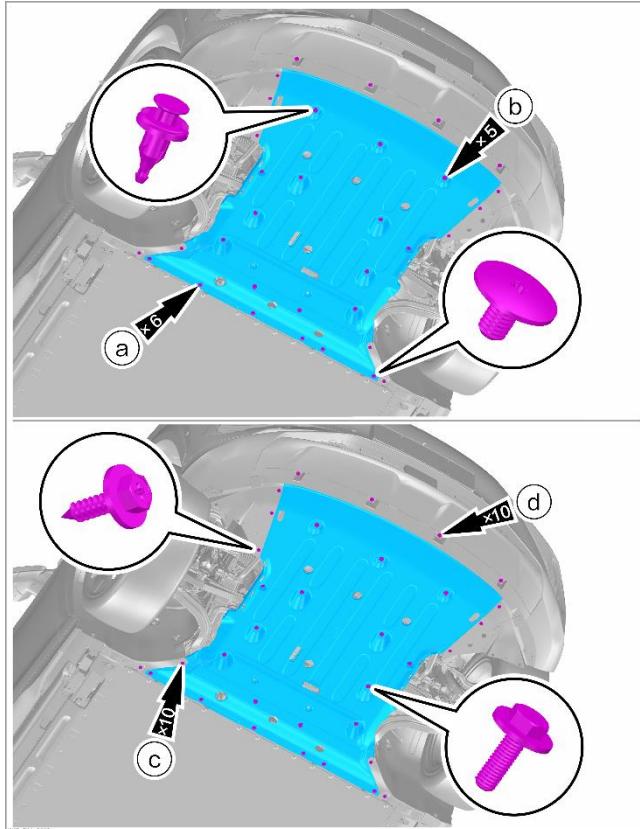
- トルクレンチ(5–50N·m)

1. フロントサブフレームフェンダーASSY を取り外します。

(i) お知らせ :

- フロントサブフレームフェンダーASSY を支える場合は、複数人で作業してください。

- (a) 固定ネジ 6 本を取り外します。
 - (b) 膨張コアを外し、5 つのスナップファスナーを取り外します。
 - (c) 固定ネジ 10 本を取り外します。
 - (d) 固定ボルト 10 本を取り外し、フロントサブフレームフェンダーASSY を外します。
- 締め付けトルク : 5N·m



リアサブフレームフェンダーASSY の取り外し

1. リアサブフレームフェンダーASSY の後部固定点を取り外します。

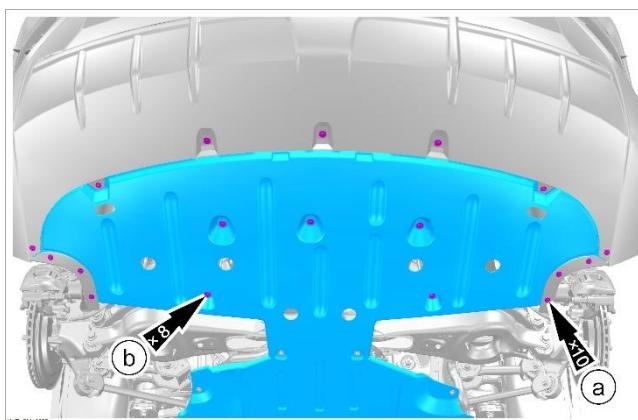
① お知らせ :

- リアサブフレームフェンダーASSY を支える場合は、複数人で作業してください。

(a) 固定ネジ 10 本を取り外します。

(b) 固定ボルト 8 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 5N·m



2. リアサブフレームフェンダーASSY を取り外します。

① お知らせ :

- リアサブフレームフェンダーASSY を支える場合は、複数人で作業してください。

(a) 固定ネジ 2 本を取り外します。

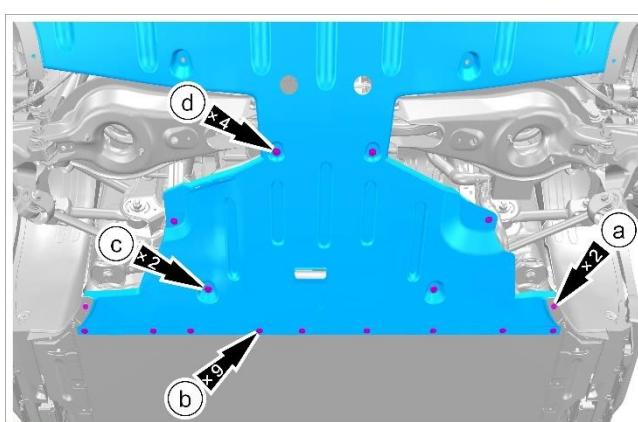
(b) 固定ボルト 9 本を取り外します。

- 締め付けトルク: 3N·m

(c) 固定クリップ 2 個を抜き出します。

(d) 固定ボルト 4 本を取り外し、リアサブフレームフェンダーASSY を外します。

- 締め付けトルク: 5N·m

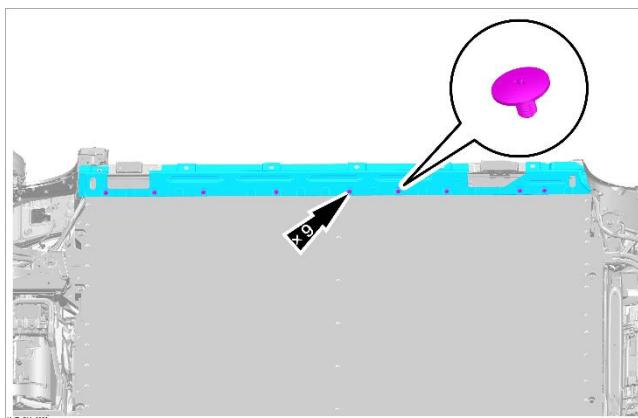


バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し (車種 BYD6486SBEV1/BYD6486SBEV2)

① お知らせ :

- 左右両側の取り外し方法は同じため、左側を例に説明します。

1. 左側エプロンマッドガード ASSY を取り外します。エプロンマッドガード ASSY の取り外しを参照してください。
2. 固定ネジ 9 本を取り外し、バッテリーパック左パネル ASSY を外します。



② 注意 :

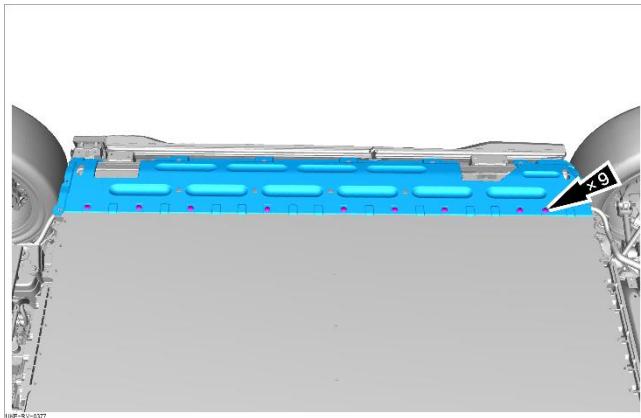
- 取り外しの際はネジの長さに注意し、必要に応じて別々に保管してください。

バッテリーパックトリムパネル ASSY の取り外し(車種 BYD6486SBEV3)

① お知らせ :

- 左右両側の取り外し方法は同じため、左側を例に説明します。

1. 左側エプロンマッドガード ASSY を取り外します。エプロンマッドガード ASSY の取り外しを参照してください。
2. 固定ネジ 9 本を取り外し、バッテリーパック左パネル ASSY を外します。



② 注意 :

- 取り外しの際はネジの長さに注意し、必要に応じて別々に保管してください。

左モータールームトリムパネル ASSY の取り外し

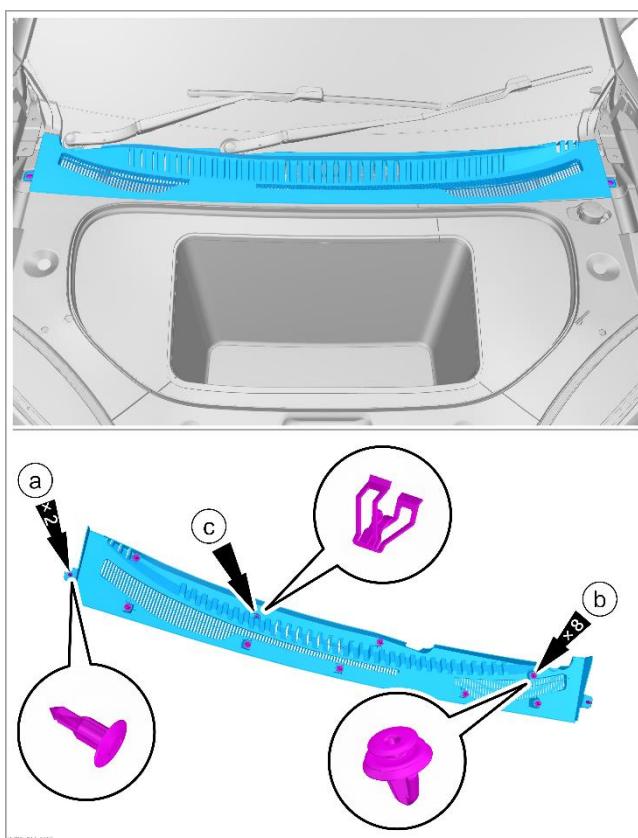
必要なメンテナンスツールと機器

- プラスチックレバー

1. カウルトップアッパートリムパネル ASSY を取り外します。

(a) 固定クリップ 2 個を取り外します。

(b) 順番に 9 個の固定クリップ「矢印 b」 と 「矢印 c」 の位置でカウルトップアッパートリムパネル ASSY を抜き出して外します。



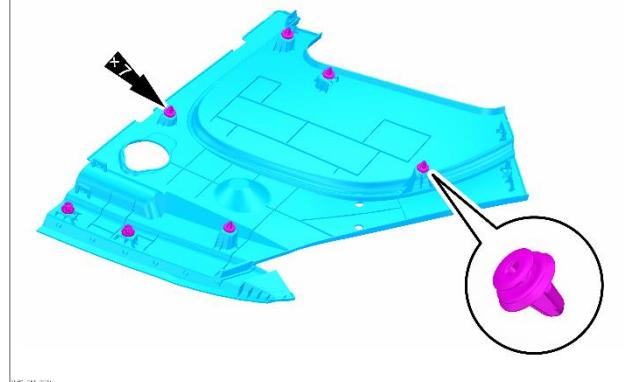
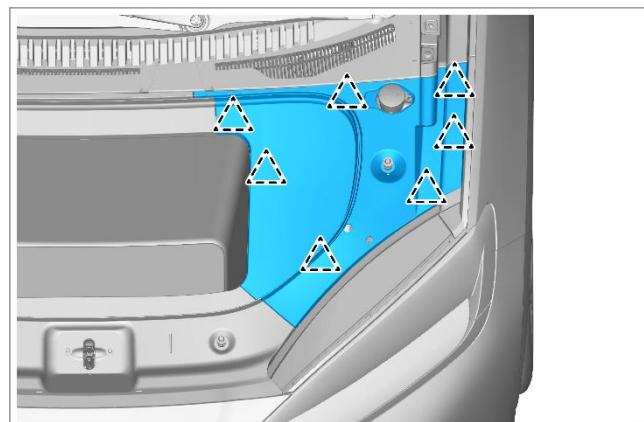
2. フロントトランクウェザーストリップを抜き出して取り外します。



(i) お知らせ :

- 長距離の引きずりによりシールストリップが伸び、取り付けが困難になることを避けるため、常にフロントトランクウェザーストリップとトリムの間の係止部にシールストリップを外してください。

3. 固定クリップ 7 個を左モータールームトリムパネル ASSY から抜き出して外します。



ラジエーターグリルアッパークーパーASSY の取り外し

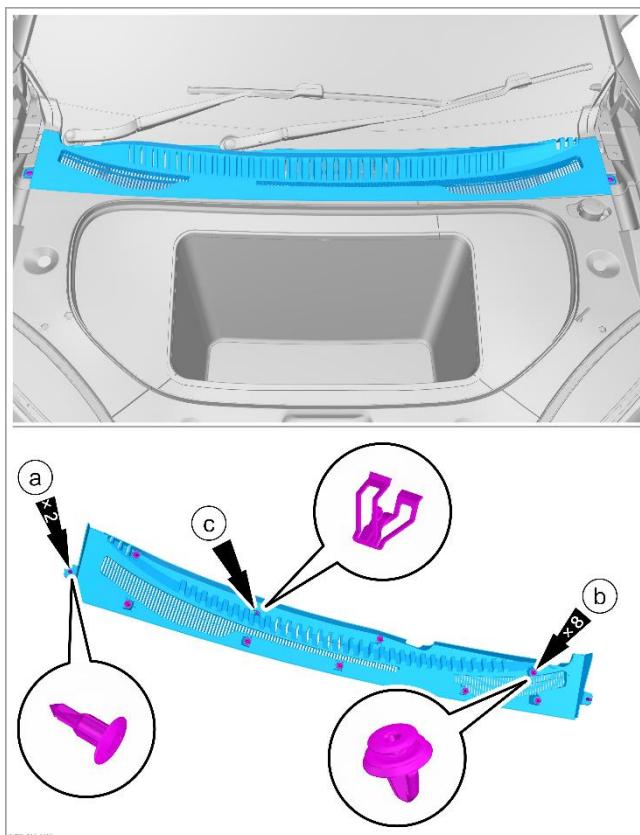
必要なメンテナンスツールと機器

- プラスチックレバー

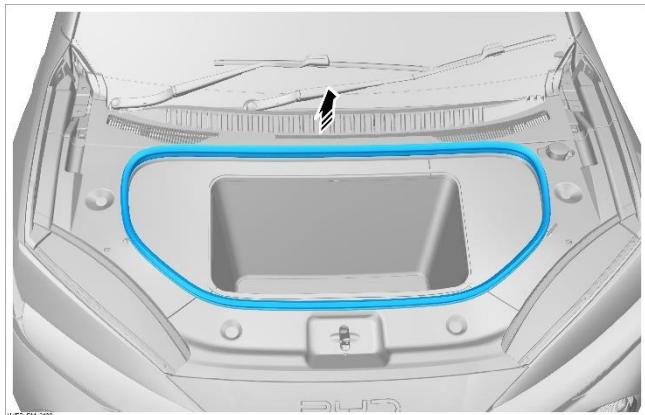
1. カウルトップアッパートリムパネル ASSY を取り外します。

(a) 固定クリップ 2 個を取り外します。

(b) 順番に 9 個の固定クリップ「矢印 b」と「矢印 c」の位置でカウルトップアッパートリムパネル ASSY を抜き出して外します。



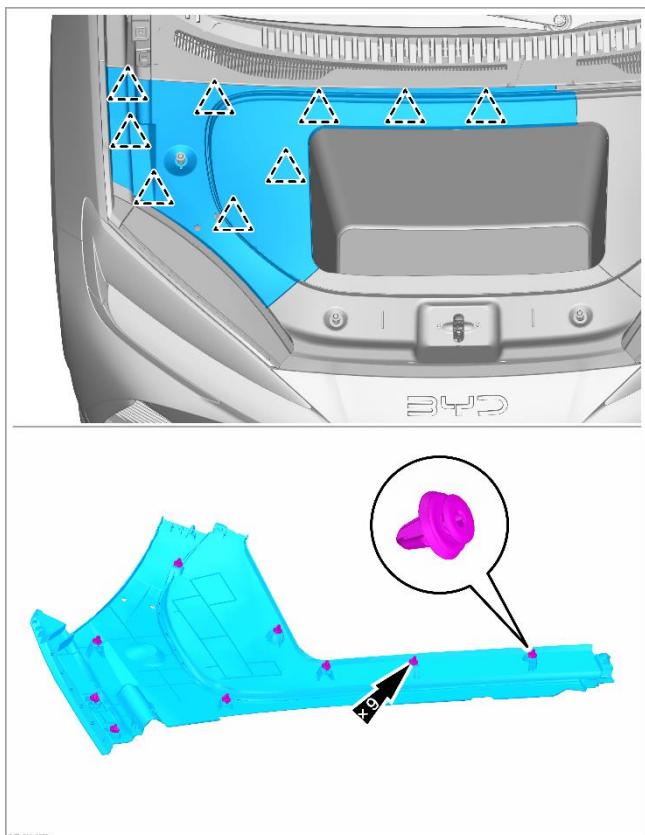
2. フロントトランクウェザーストリップを抜き出して取り外します。



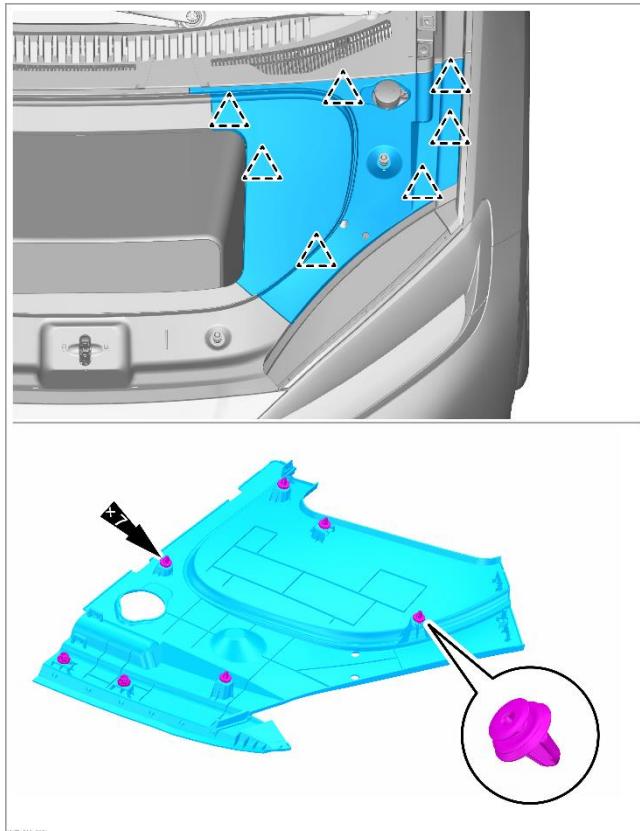
(i) お知らせ :

- 長距離の引きずりによりシールストリップが伸び、取り付けが困難になることを避けるため、常にフロントトランクウェザーストリップとトリムの間の係止部にシールストリップを外してください。

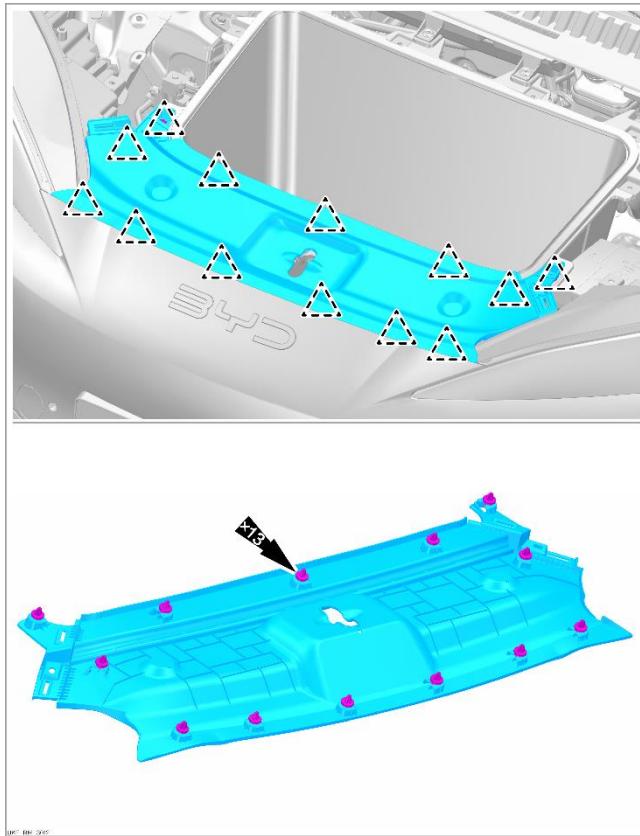
3. 9 個の固定クリップの位置で右モータールームトリムパネル ASSY を抜き出して外します。



4. 固定クリップ 7 個を左モータールームトリムパネル ASSY から抜き出して外します。



5. 13 個の固定クリップの位置でラジエーターグリルアッパークバーASSY を抜き出して外します。

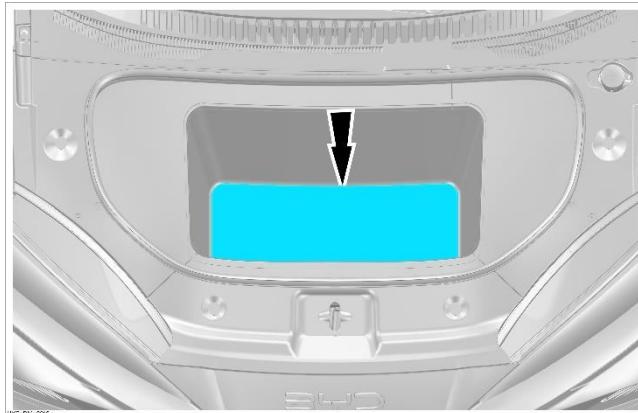


モータールーム収納ボックス ASSY の取り外し

必要なメンテナンスツールと機器

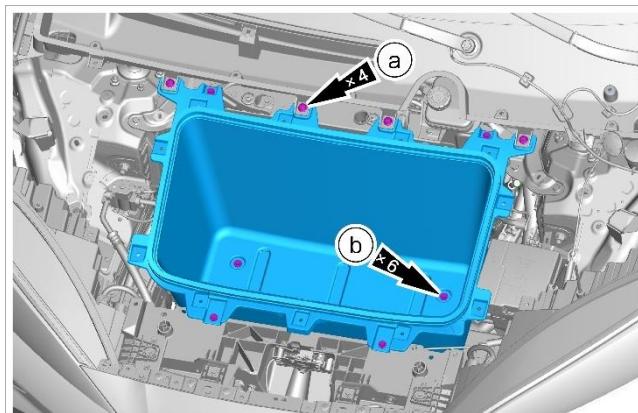
- トルクレンチ(5–50N·m)
- プラスチックレバー

1. モータールーム収納ボックスパッド ASSY を取り出します。



2. ラジエーターグリルアッパークバーASSY を取り外します。 [ラジエーターグリルアッパークバーASSY の取り外し](#)を参照してください。
3. モータールーム収納ボックス ASSY を取り外します。
 - (a) 固定クリップ 7 個を取り外します。
 - (b) 固定ボルト 6 本を取り外し、モータールーム収納ボックス ASSY を取り出します。

- 締め付けトルク: 5N·m



エプロンマッドガード ASSY の取り外し

[i] 注意：

- 塗装の損傷を避けるため、慎重に操作してください。

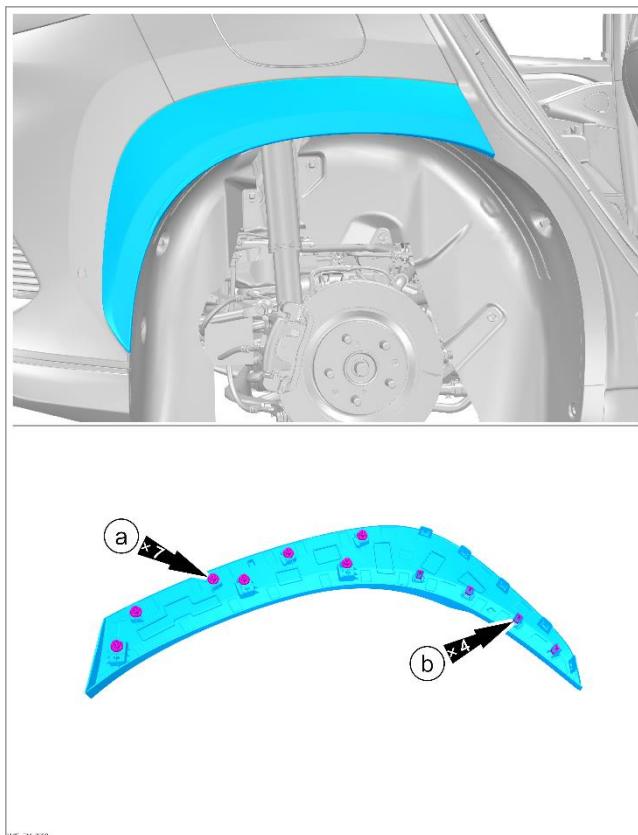
[i] お知らせ：

- 左右両側の取り外し方法は同じため、右側を例に説明します。

必要なメンテナンスツールと機器

- ヒートガン
- プラスチックレバー

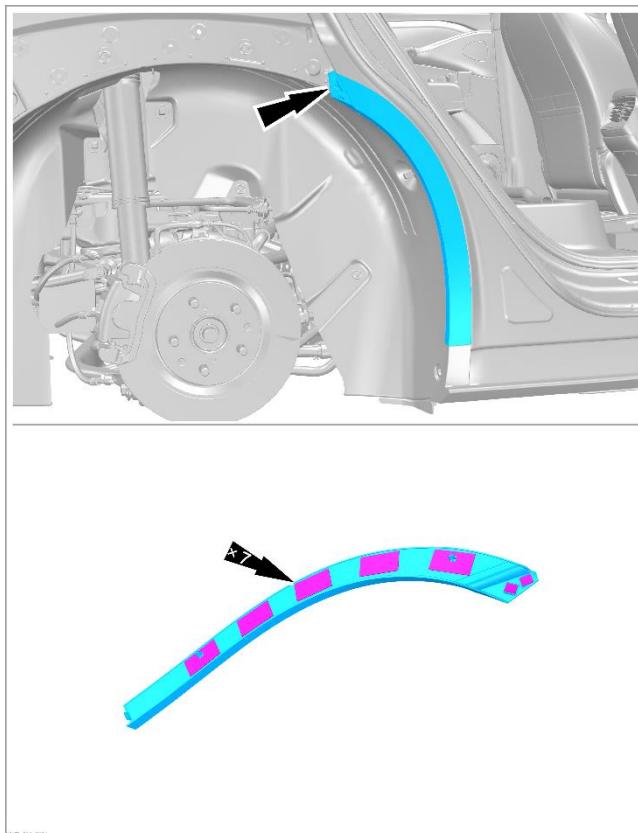
1. プラスチックレバーを使用し、前側から固定クリップの位置で右リアホイールアイブロウ ASSY をマウントベースから抜き出して外します。



[i] 注意：

- 塗装や部品を傷付けないように、慎重に操作してください。

2. ヒートガンを使用して右ボディーサイドホイールアイブロウ ASSY を加熱します。次にプラスチックレバーを使用して「矢印」の位置から裏側接着剤 7 箇所を剥がし、右ボディーサイドホイールアイブロウ ASSY を外します。

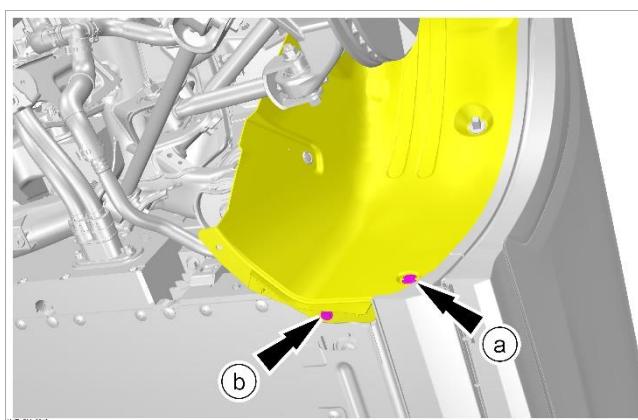


[i] 注意：

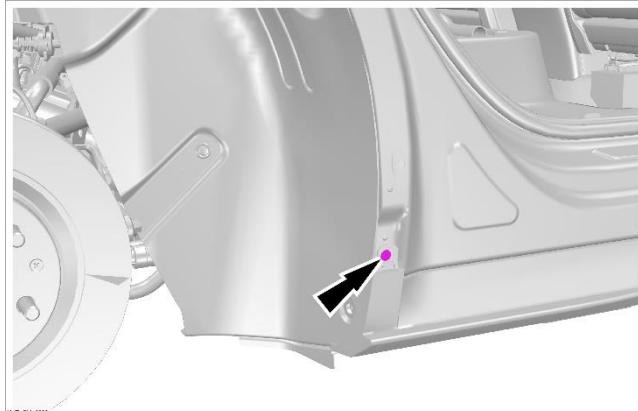
- 塗装や部品を傷付けないように、慎重に操作してください。

3. 右リアホイールマッドガード ASSY を抜き出します。

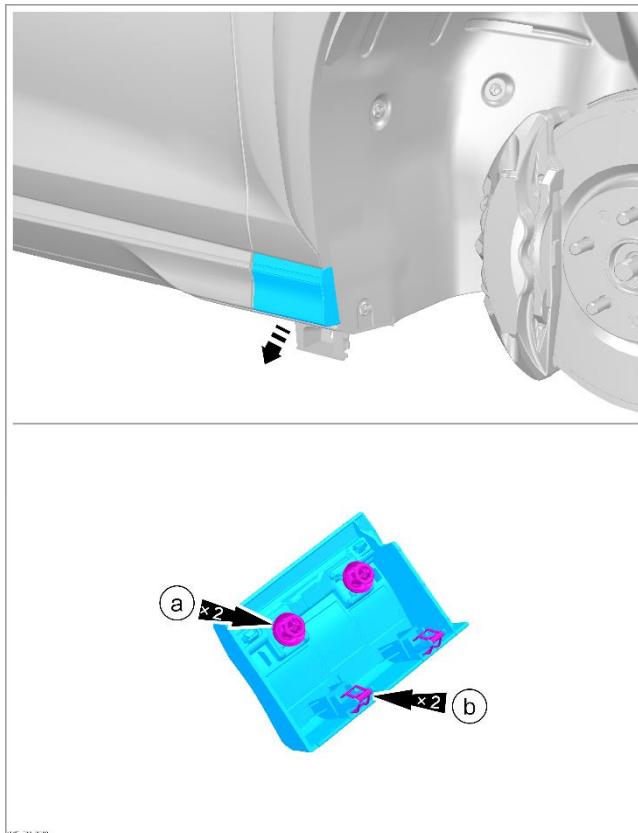
- (a) 固定クリップ 1 個を取り外します。
- (b) 固定ネジ 1 本を取り外し、右リアホイールマッドガード ASSY を右側エプロンマッドガード ASSY から抜き出します。



4. 右側エプロンマッドガード ASSY 後部の固定ネジ 1 本を取り外します。



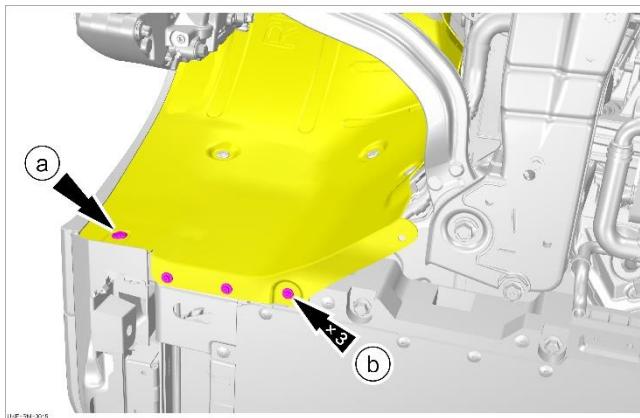
5. プラスチックレバーを使用し、下側から 4 つの固定クリップの位置で右ボディーサイドアウタートリム ASSY を抜き出して外します。



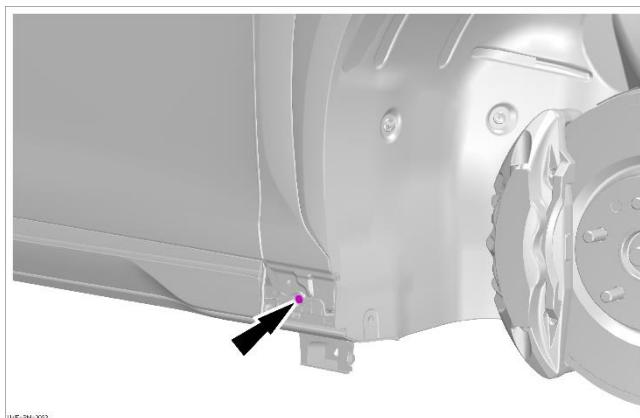
[i] 注意 :

- 塗装や部品を傷付けないように、慎重に操作してください。

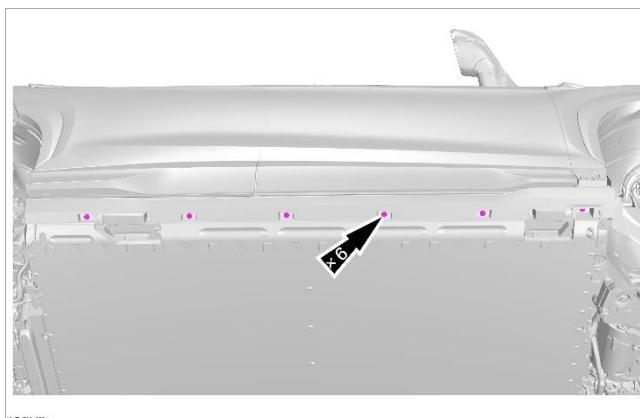
6. 右フロントホイールマッドガード ASSY を抜き出します。
(a) 固定クリップ 1 個を取り外します。
(b) 固定ネジ 3 本を取り外し、右フロントホイールマッドガード ASSY を右側エプロンマッドガード ASSY から抜き出します。



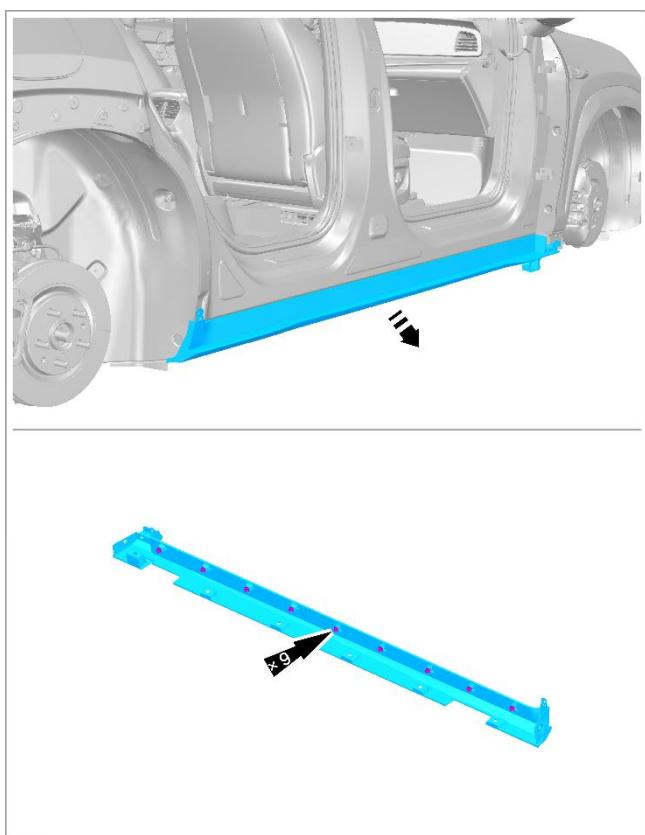
7. 右側エプロンマッドガード ASSY の固定ネジ 1 本を取り外します。



8. 右側エプロンマッドガード ASSY 下部の固定クリップ 6 個を取り外します。



9. 9 個の固定クリップの位置で「矢印」方向に沿って右側エプロンマッドガード ASSY を抜き出して外します。



引き渡し荷姿の指定

- 平パレットとPPバンド2本を使用し、バッテリーパックユニットを固定してください。
- 平パレットは解体事業者様にて用意してください。
- 車上渡しをしてください(解体事業者様にてフォークリフト等で荷台へ載せる)。
- 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーパックユニットに貼り付けてください。

